

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

問6 鳥取県の施策等について、あなたの満足度をお聞きますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1~5のいずれかの数字に○をしてください。)

※「5」は満足、「1」は不満

問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」の満足度がトップ～

「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が32.5%と最も割合が高く、次いで「農業の活力増進に関する取組」が31.8%、「スポーツによる交流促進を進める取組」が21.0%と続いている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、満足度は全ての年度で「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が3割台で推移している。また、「外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり」「農業の活力増進に関する取組」は前年度より満足度が2ポイント程度減少しており、それ以外の項目は横ばいとなっている。

一方、「不満・やや不満」は「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が前年度に比べ4.5ポイント増加している。

図13 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる取組の満足度(n=1,760)

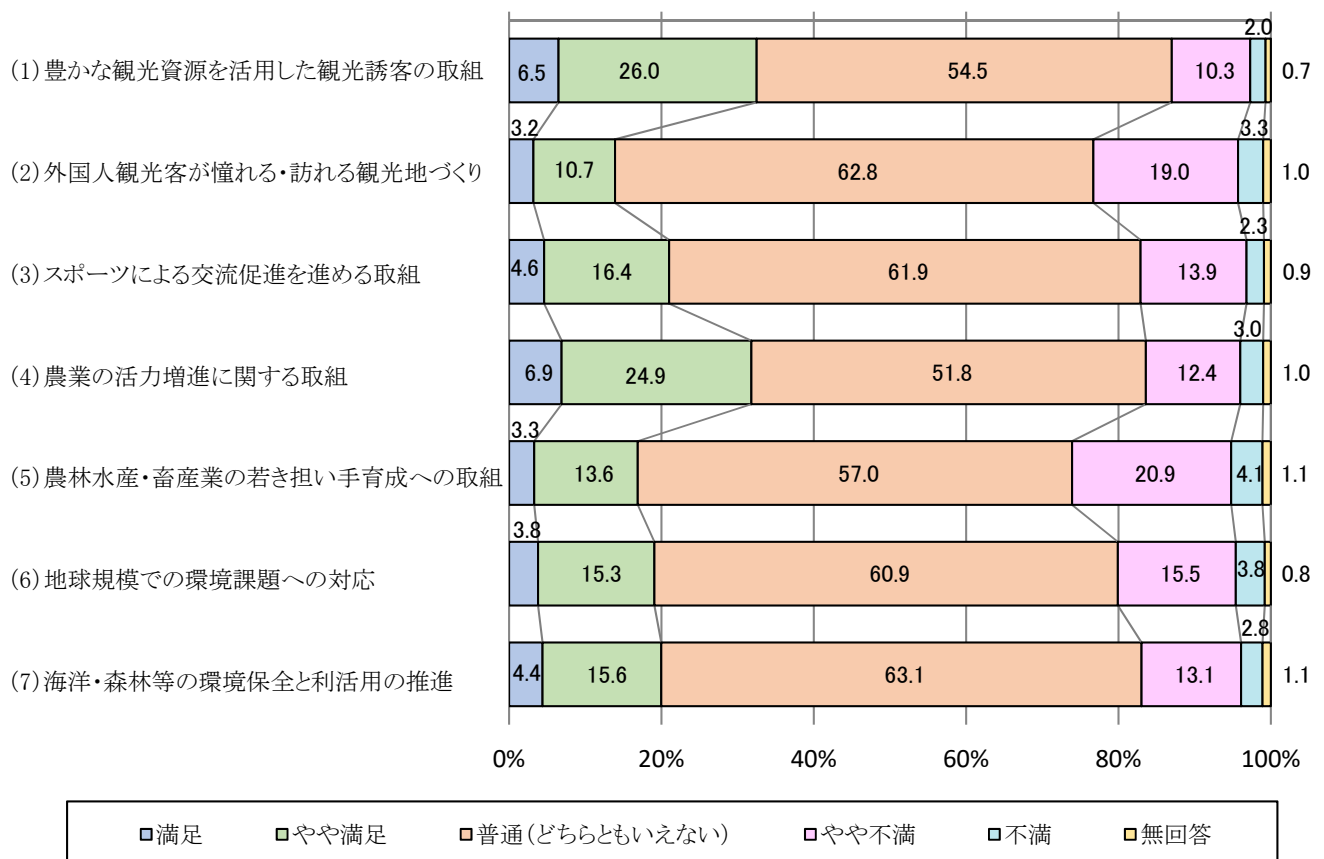
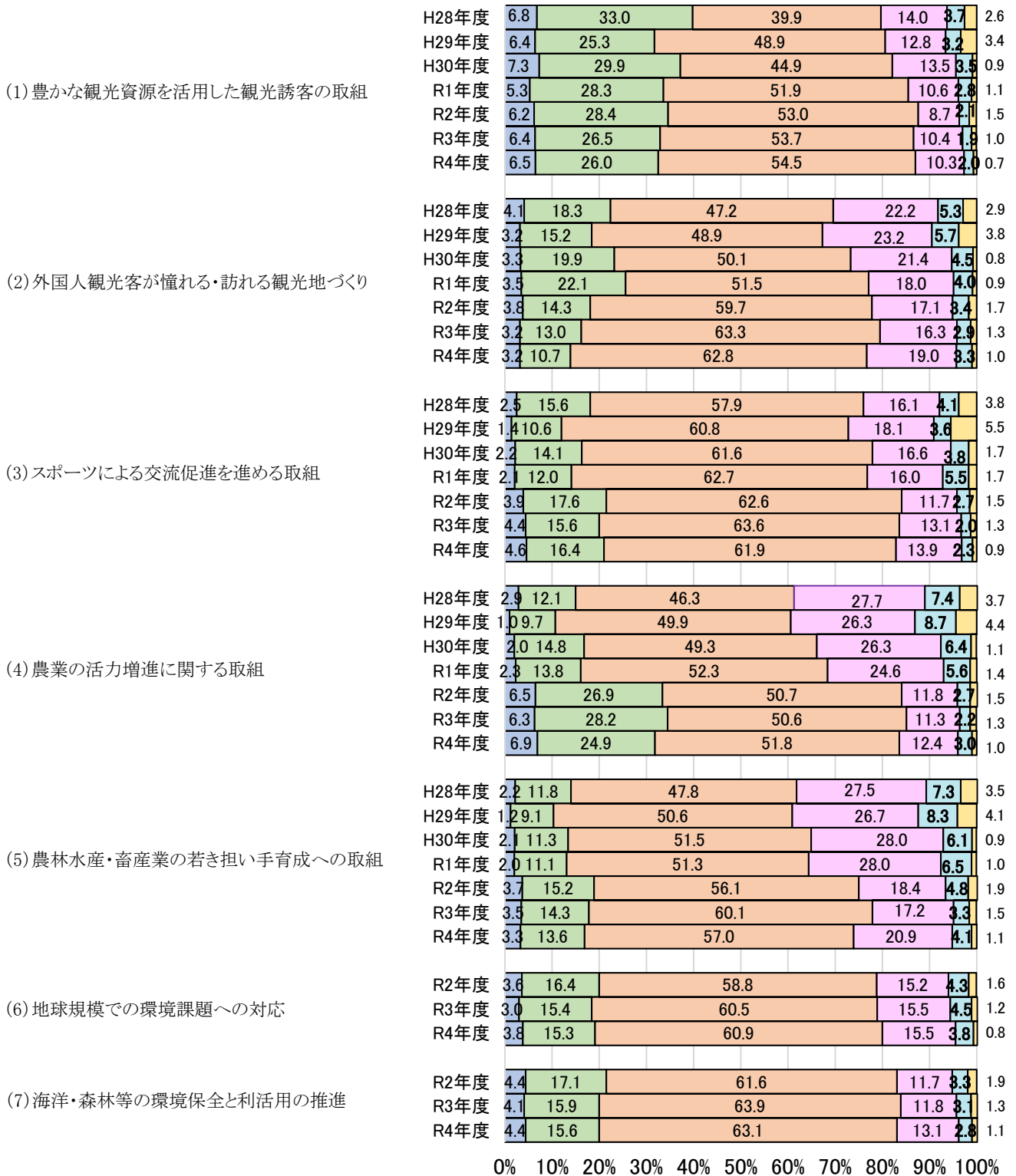


図 14 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度(年次比較)



満足
 やや満足
 普通(どちらともいえない)
 やや不満
 不満
 無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

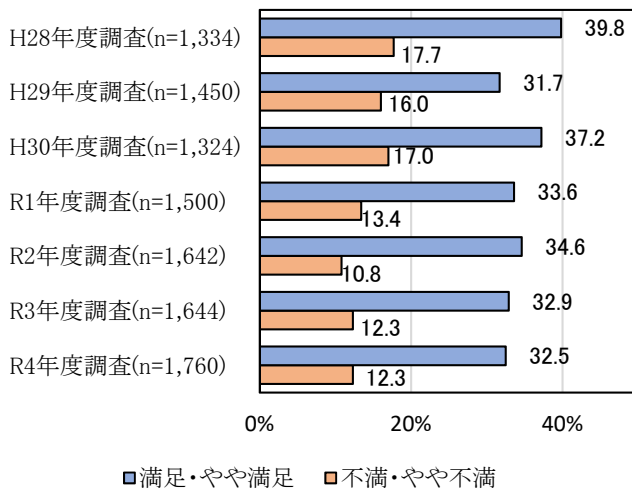
- (3) スポーツによる交流促進を進める取組 【+1.0】
- (6) 地球規模での環境課題への対応 【+0.7】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

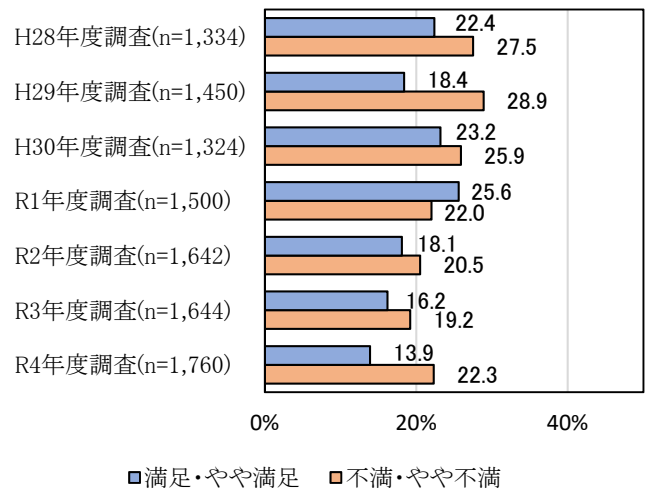
- (5) 農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組 【+4.5】
- (2) 外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり 【+3.1】
- (4) 農業の活力増進に関する取組 【+1.9】
- (3) スポーツによる交流促進を進める取組 【+1.1】
- (7) 海洋・森林の環境保全と利活用の推進 【+1.0】

●満足度・不満足度の比較(複数年度のデータがある項目を掲載)

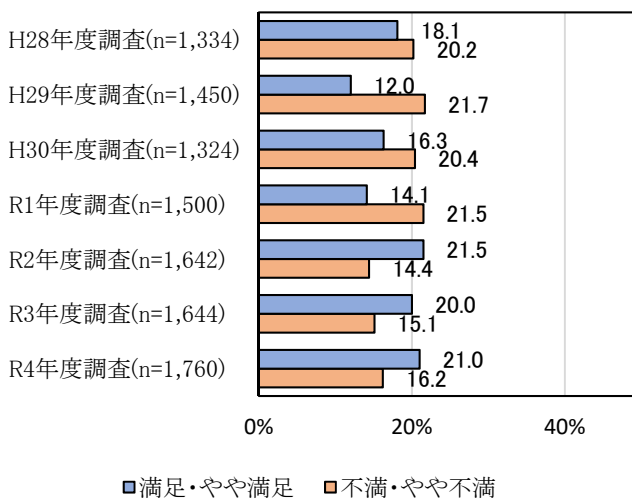
(1) 豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組



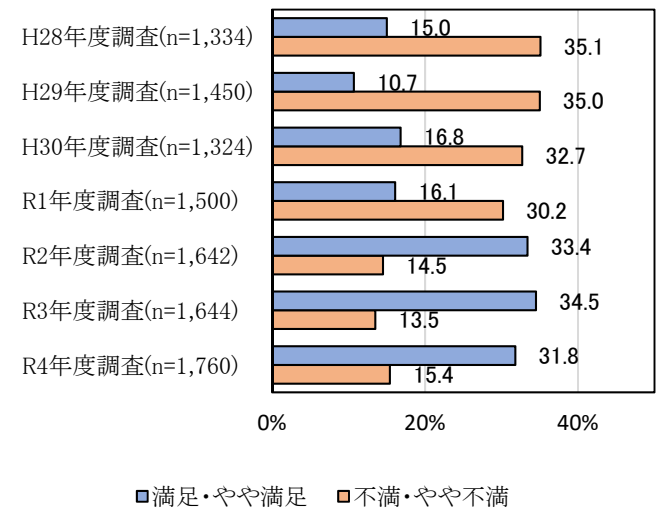
(2) 外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり



(3) スポーツによる交流促進を進める取組

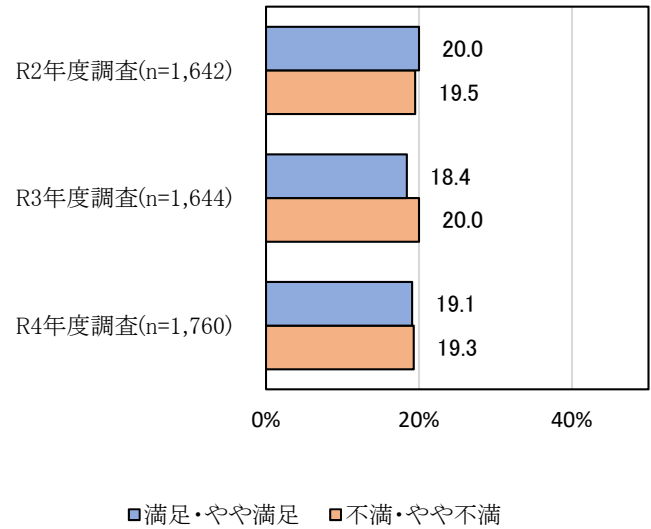
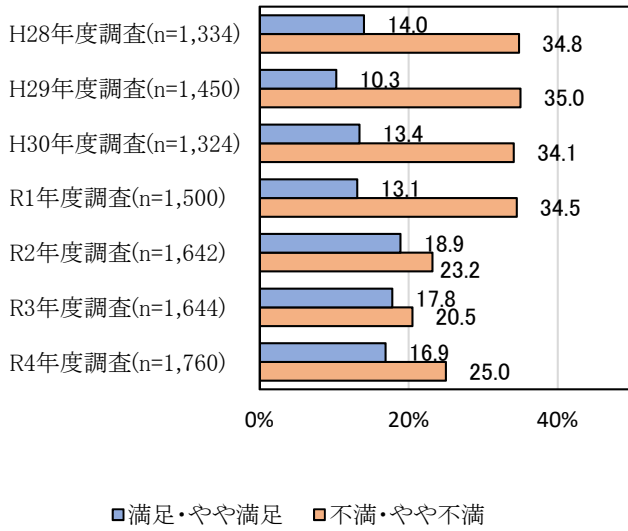


(4) 農業の活力増進に関する取組

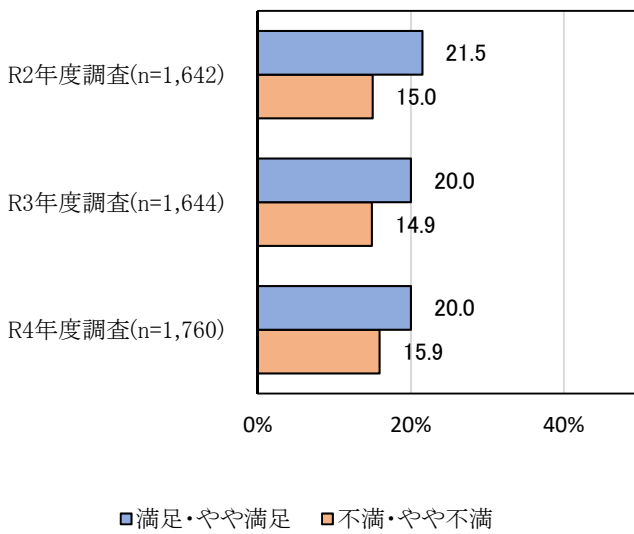


(5) 農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組

(6) 地球規模での環境課題への対応



(7) 海洋・森林等の環境保全と利活用の推進



問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～農林水産・畜産業の振興や観光資源を活用した誘客の取組が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が58.1%と最も高く、次いで「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が55.2%、「農業の活力増進に関する取組」が51.7%と続いている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」は毎年増加している。

年代別でみると、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」は20～40歳代が高く、「農業の活力増進に関する取組」は60歳代で高くなっている。

問15 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(年次比較)

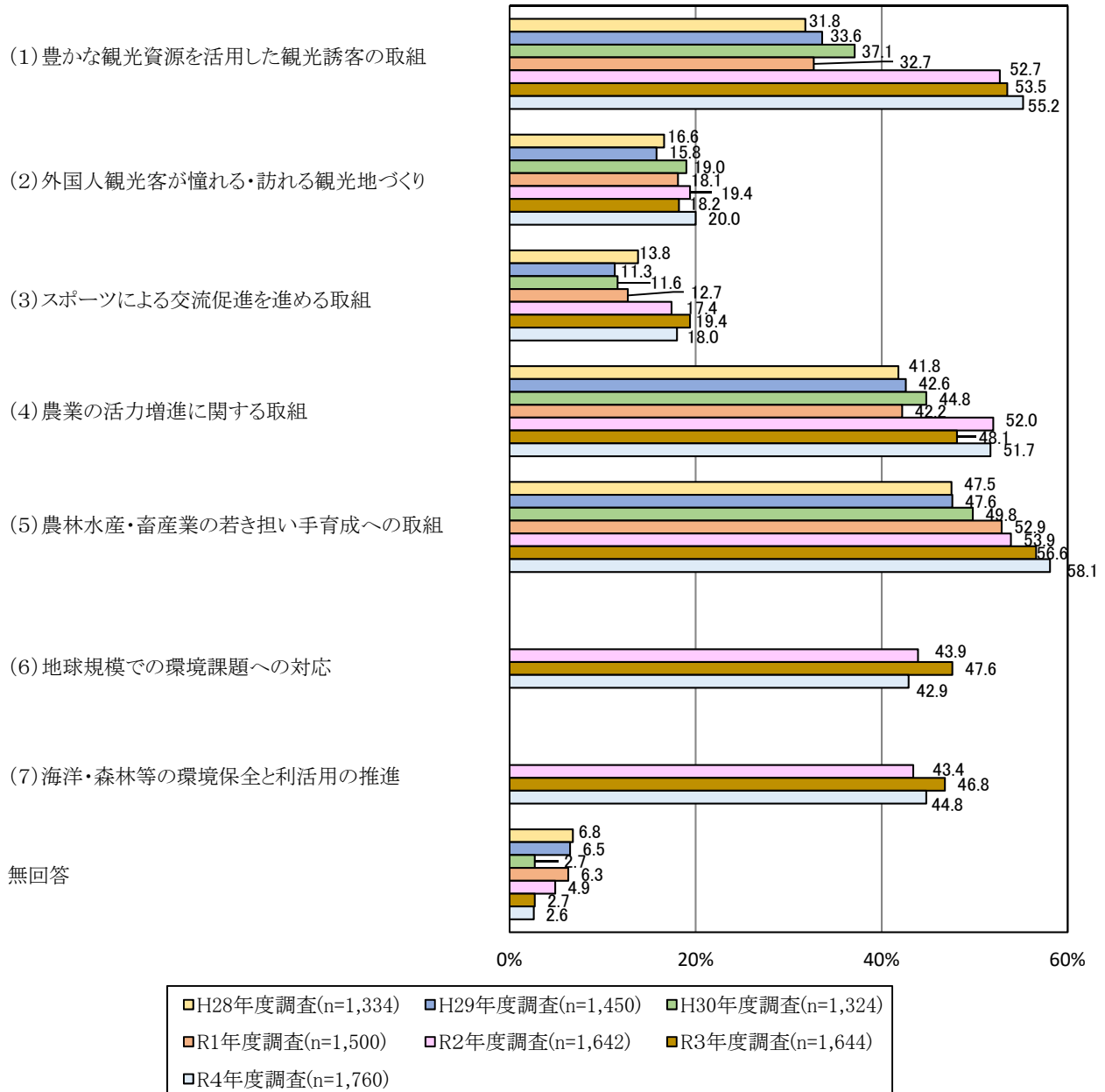
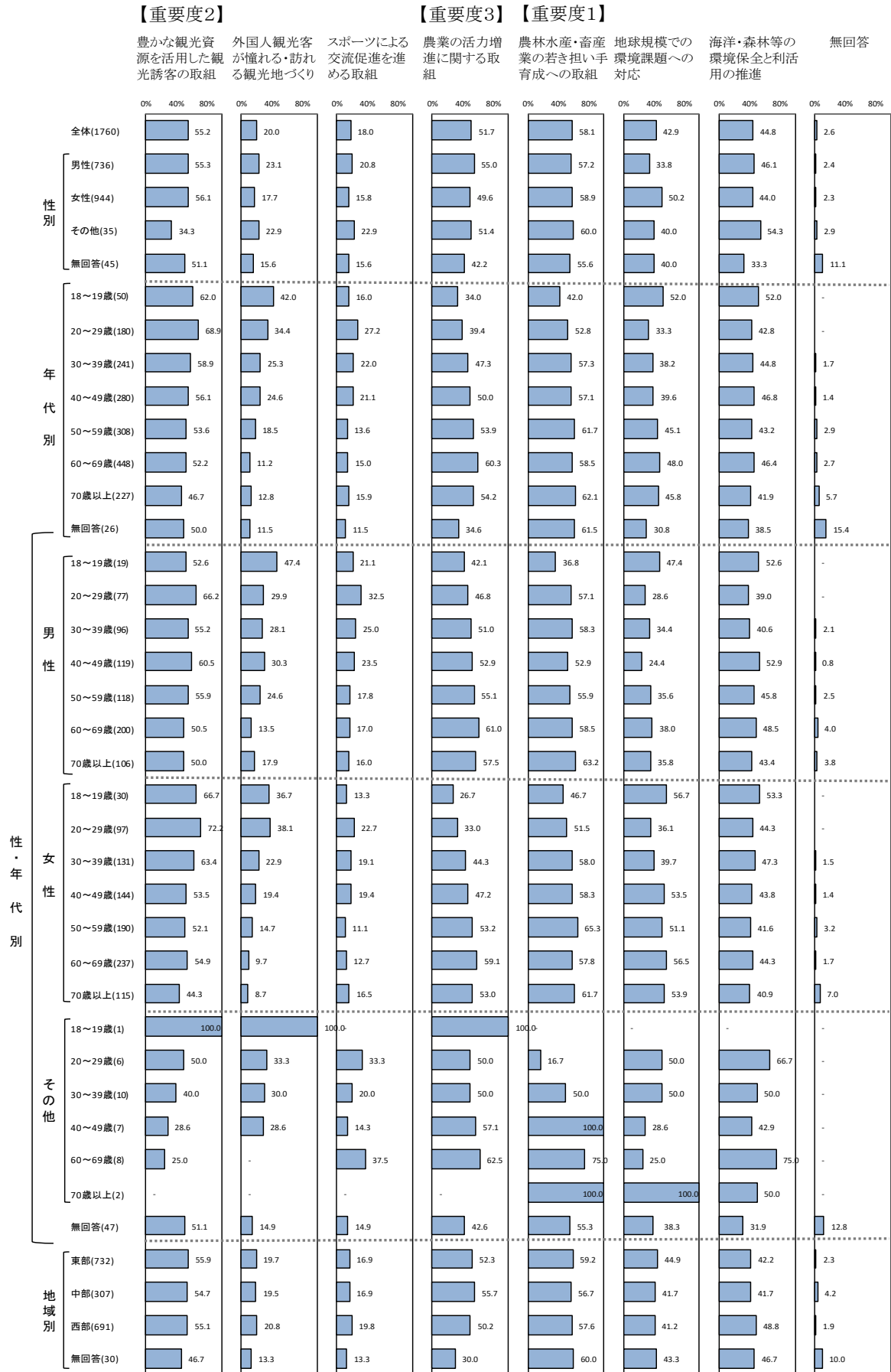


図16 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

～「感染症に強い地域づくり」の満足度が高い～

「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「感染症に強い地域づくり」が35.5%と最も割合が高く、次いで「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が23.3%、「健康寿命の延伸」が22.4%となっている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、4年度の「健康寿命の延伸」「鳥取ならではの防災文化づくり」の満足度は前年度より3ポイント以上減少しており、それ以外の項目は横ばいとなっている。

また、4年度の「感染症に強い地域づくり」の不満(不満・やや不満の計)は、前年度と比べて約4ポイント減少している。

図17 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(n=1,760)

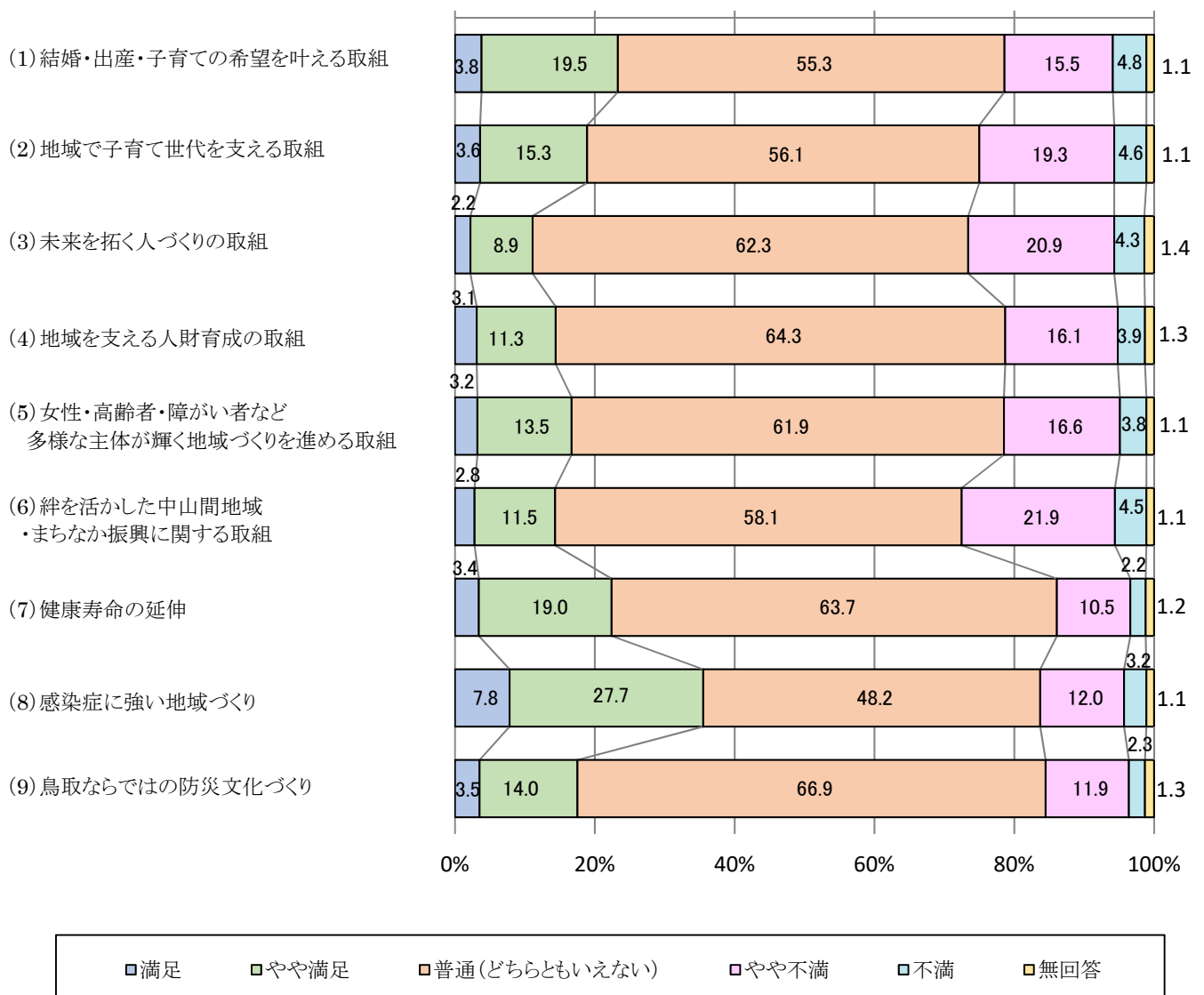
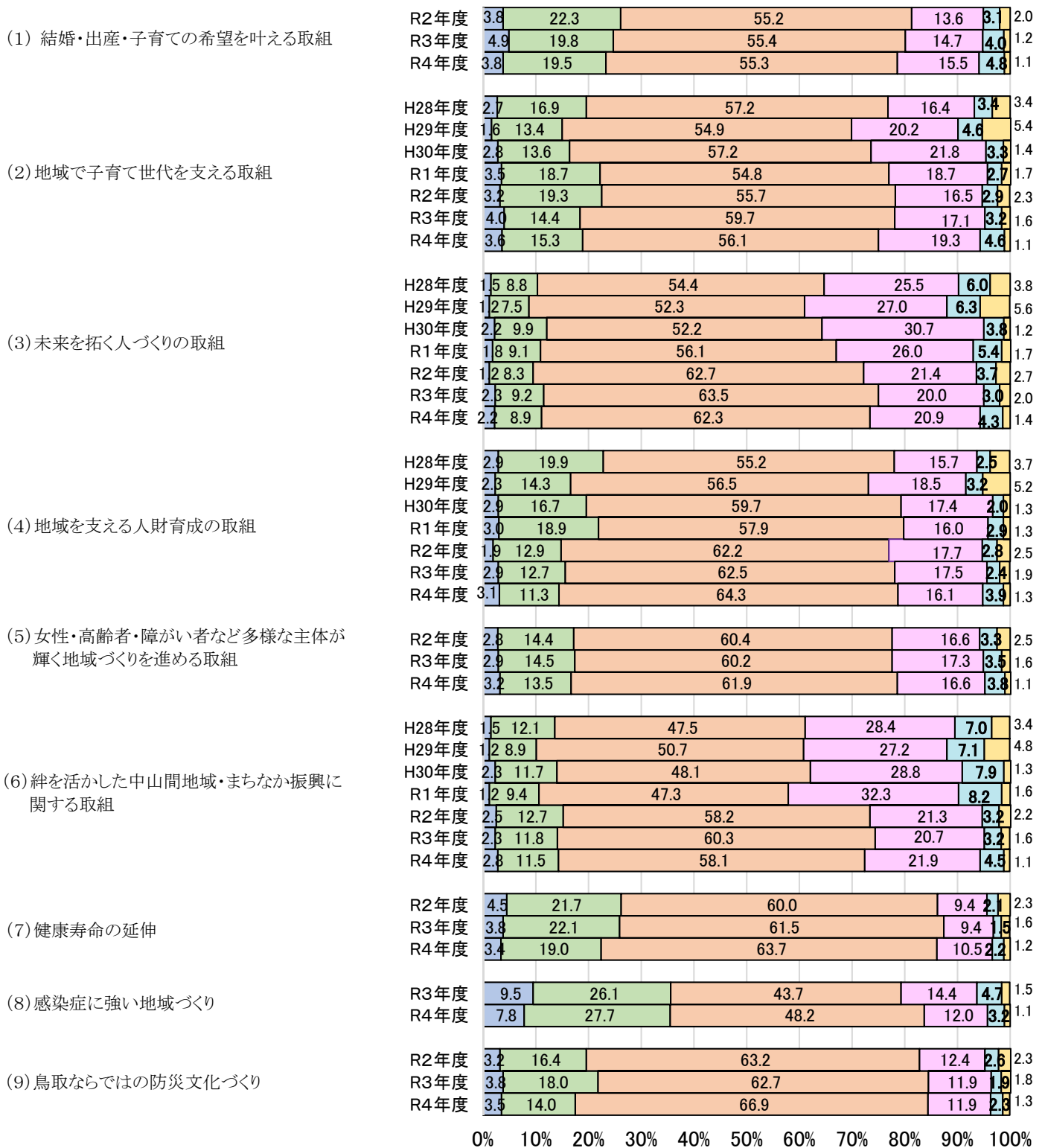


図 18 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(年次比較)



満足
 やや満足
 普通(どちらともいえない)
 やや不満
 不満
 無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

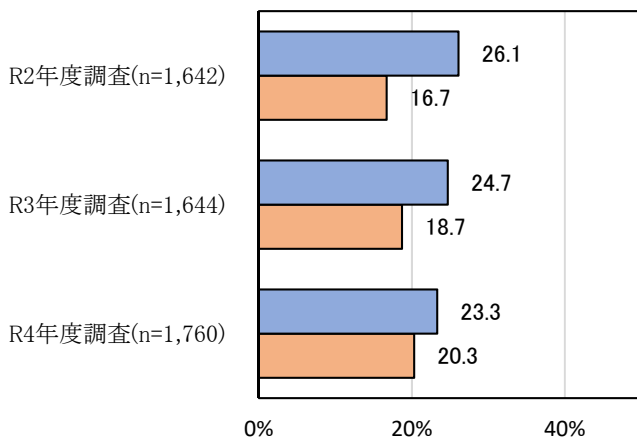
- (2) 地域で子育て世代を支える取組 【+0.5】
- (6) 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組 【+0.2】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

- (2) 地域で子育て世代を支える取組 【+3.6】
- (6) 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組 【+2.5】
- (3) 未来を拓く人づくりの取組 【+2.2】
- (7) 健康寿命の延伸 【+1.8】
- (1) 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組 【+1.6】
- (9) 鳥取ならではの防災文化づくり 【+0.4】
- (4) 地域を支える人財育成の取組 【+0.1】

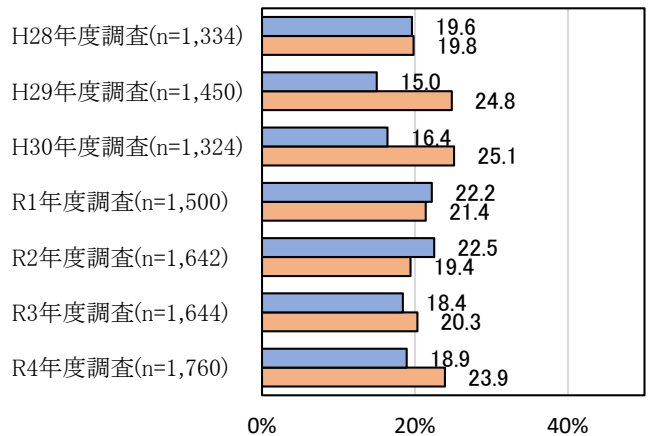
●満足度・不満足度の比較

(1) 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組



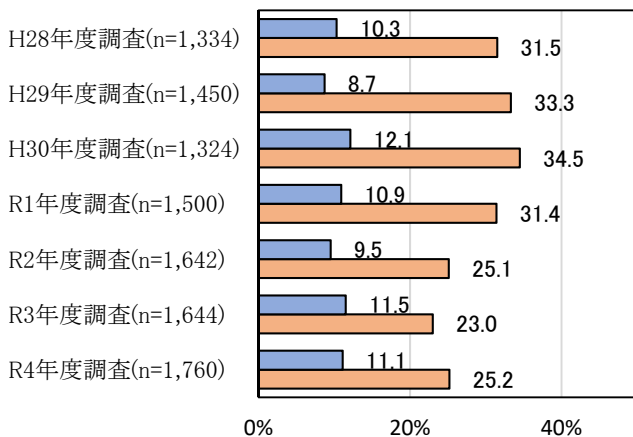
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(2) 地域で子育て世代を支える取組



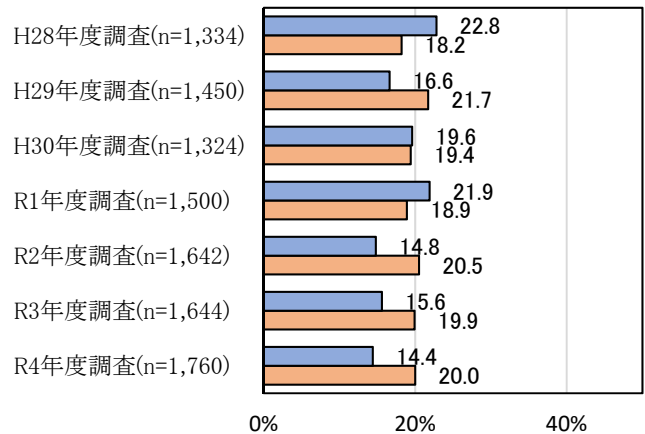
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(3) 未来を拓く人づくりの取組



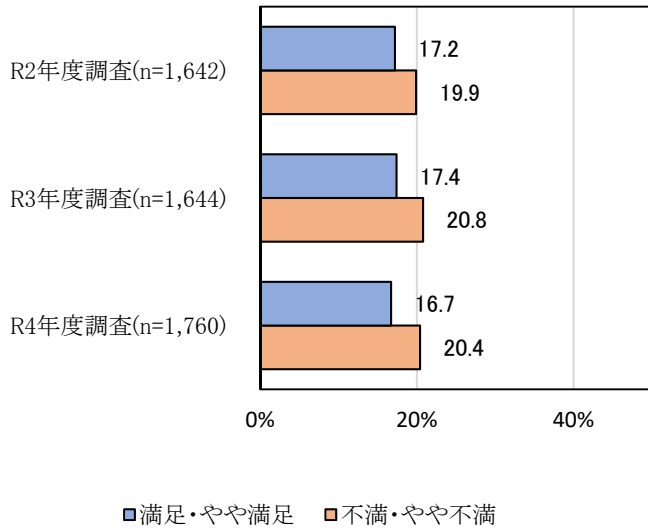
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(4) 地域を支える人財育成の取組

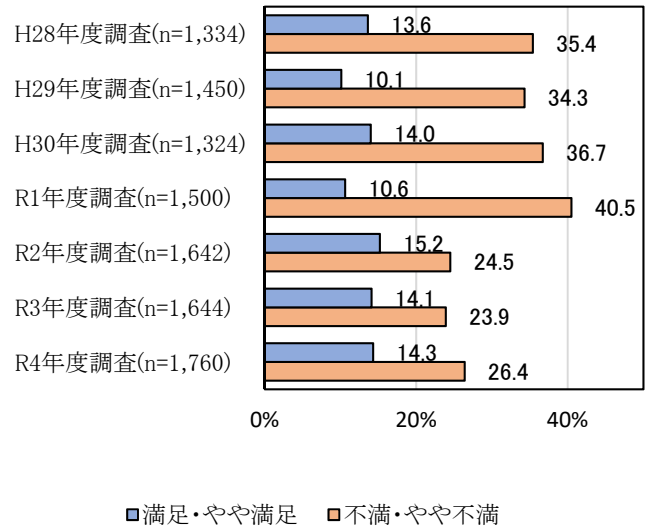


■満足・やや満足 ■不満・やや不満

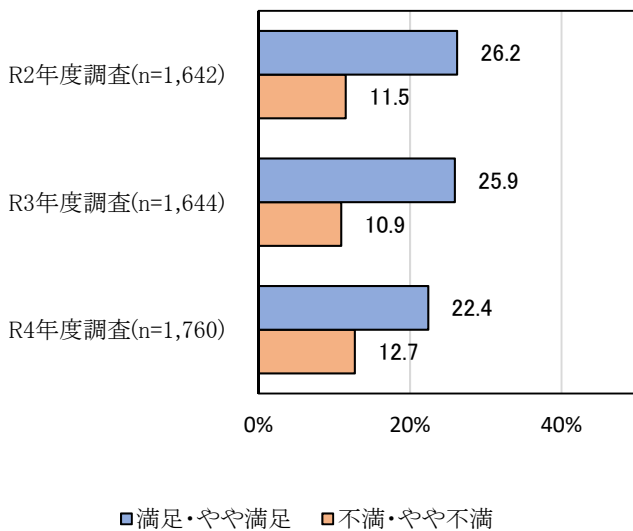
(5) 女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組



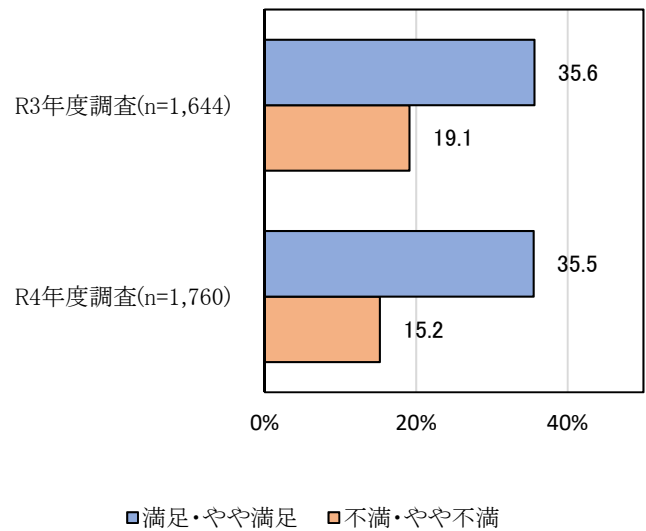
(6) 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組



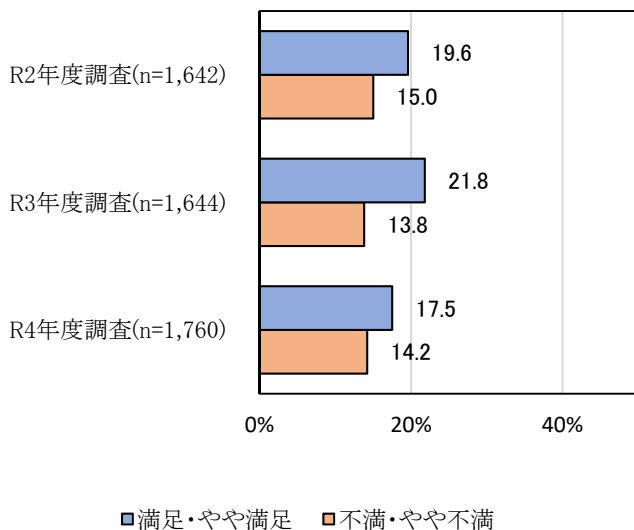
(7) 健康寿命の延伸



(8) 感染症に強い地域づくり



(9) 鳥取ならではの防災文化づくり



問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の施策のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「地域で子育て世代を支える取組」「女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が49.0%と最も割合が高く、次いで、「地域で子育て世代を支える取組」が48.1%、「女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組」が32.8%となっている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、「地域を支える人財育成の取組」は過去7年間で最も高くなっている。

図19 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(年次比較)

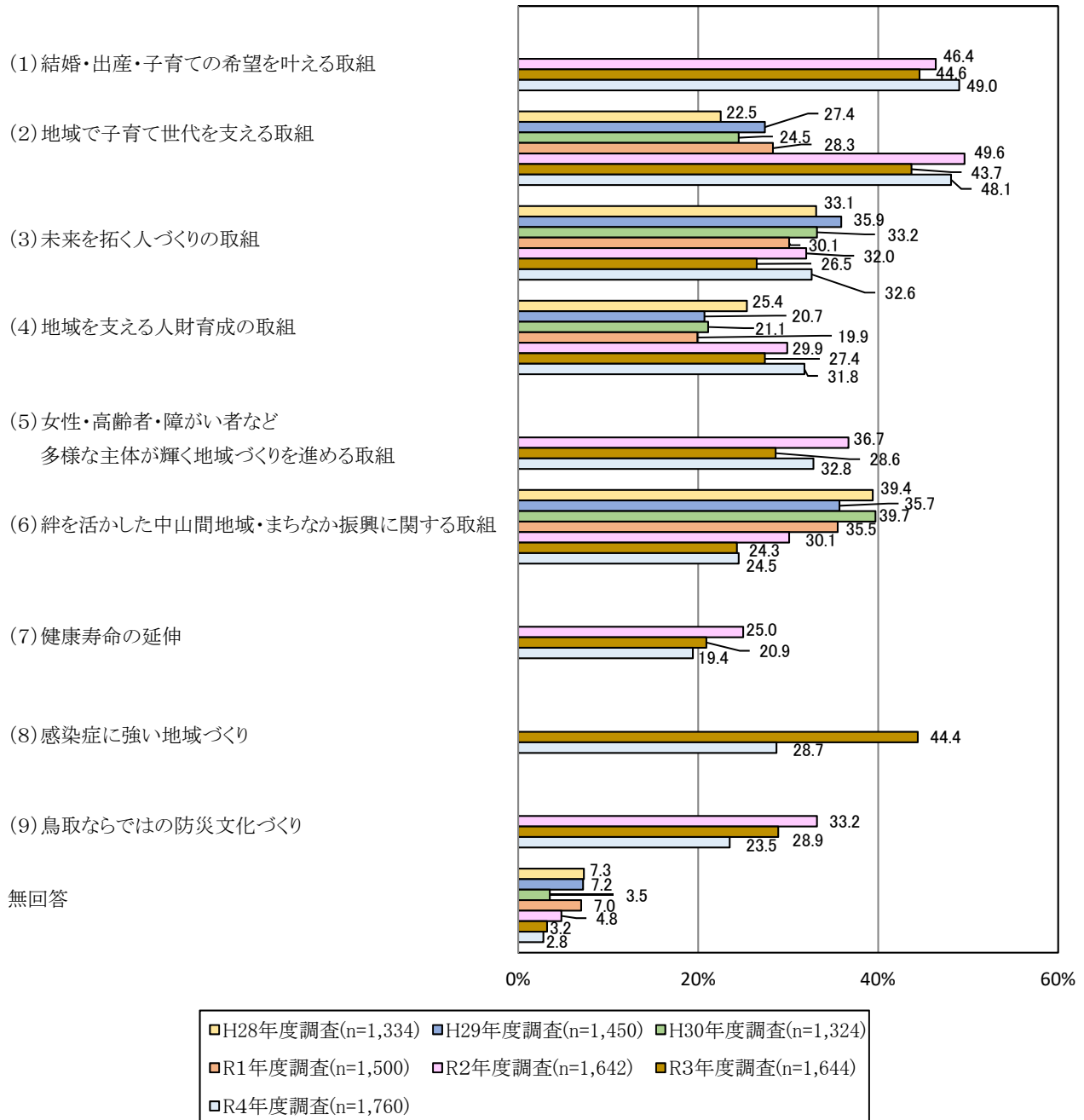
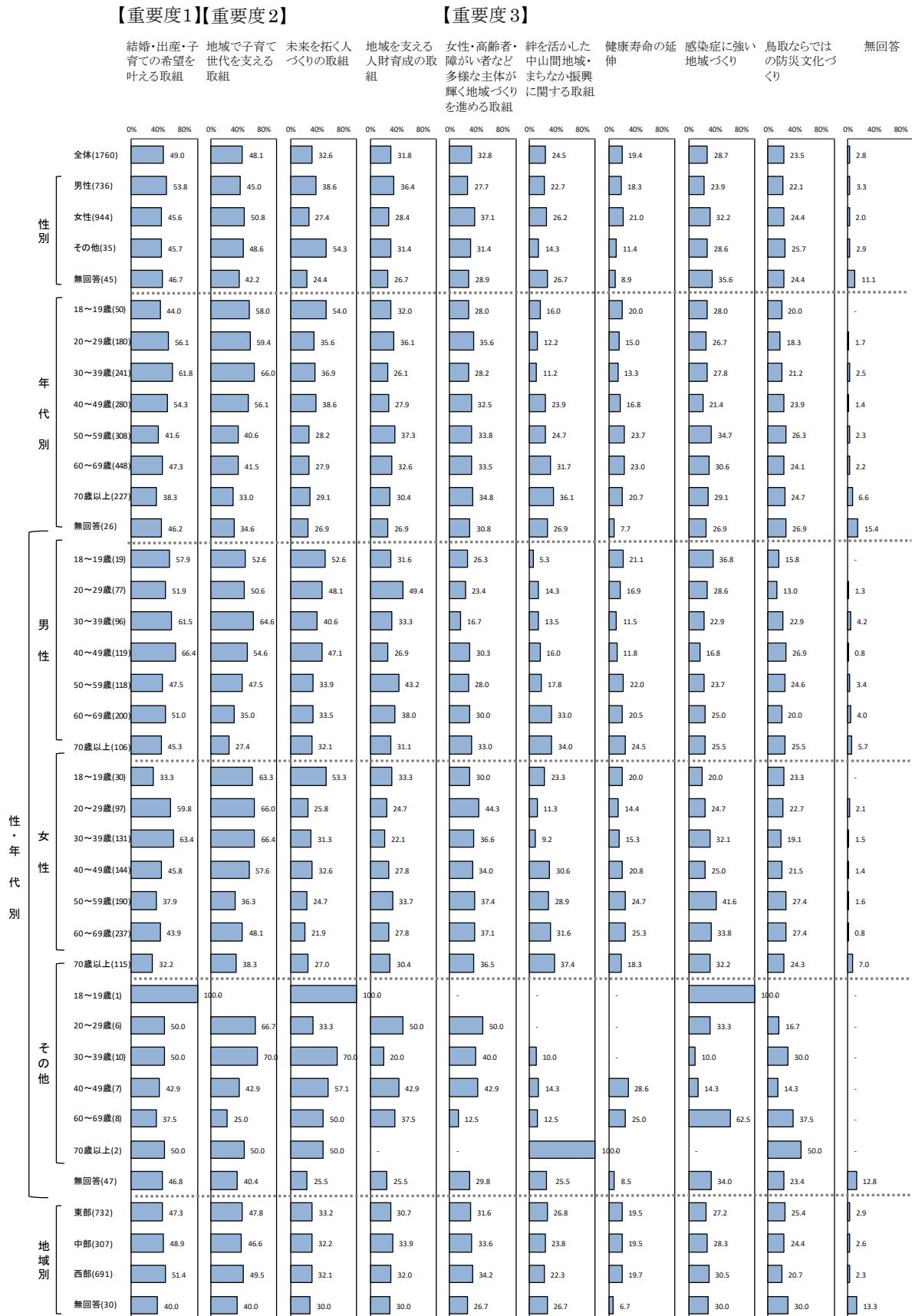


図 20 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

～アート・文化、防災基盤構築、移住定住の取組が上位～

「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「アート・文化による地域づくりへの取組」が22.2%と最も割合が高く、次いで「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」が20.4%、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が20.2%となっている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、4年度は「アート・文化による地域づくりへの取組」「関係人口の拡大を進める取組」以外の全ての項目で満足度が3年度から減少している。

また、不満(不満・やや不満足)については、「戦略的な産業人材の育成・確保」が1.3ポイント減少している。

図21 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(n=1,760)

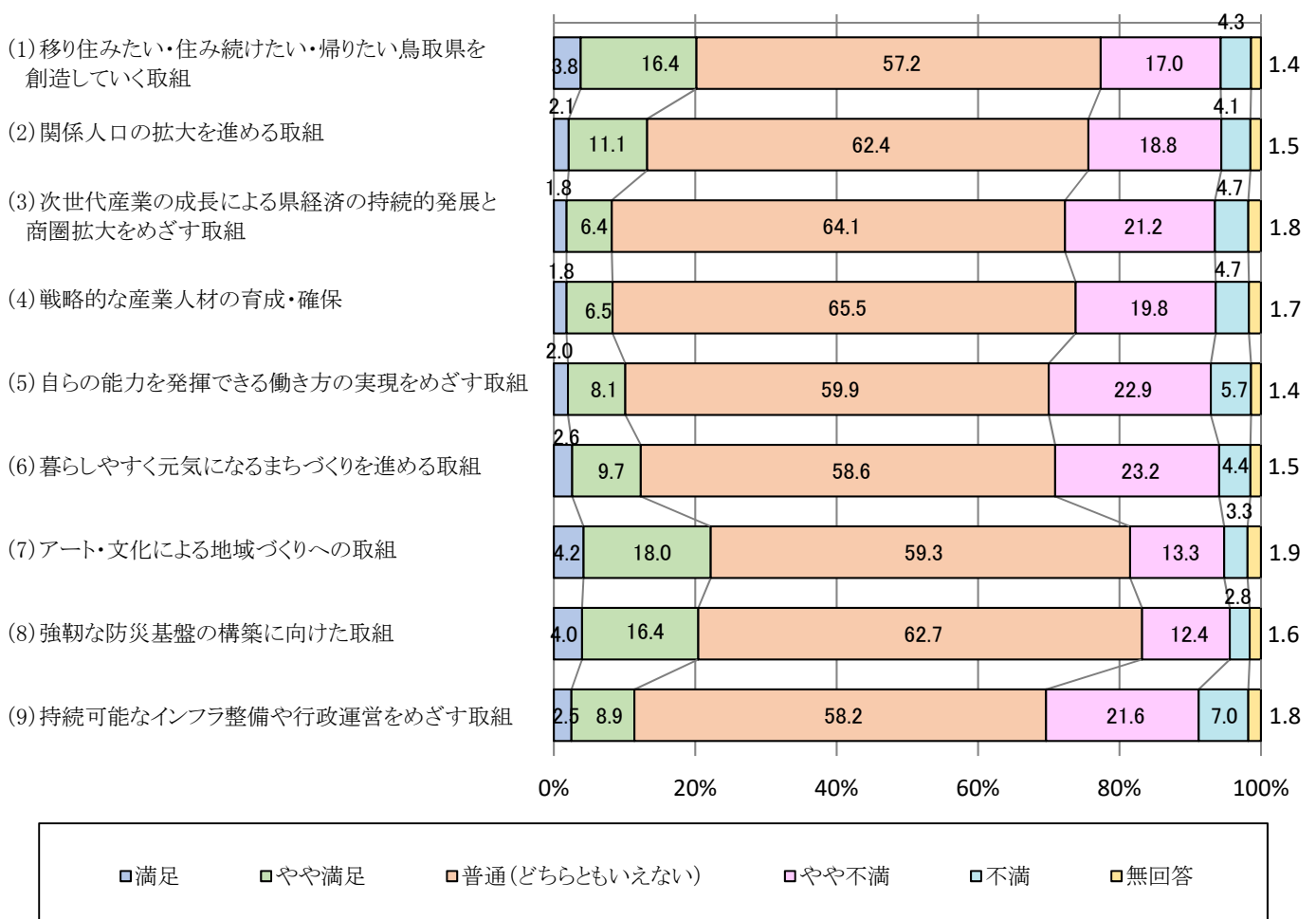
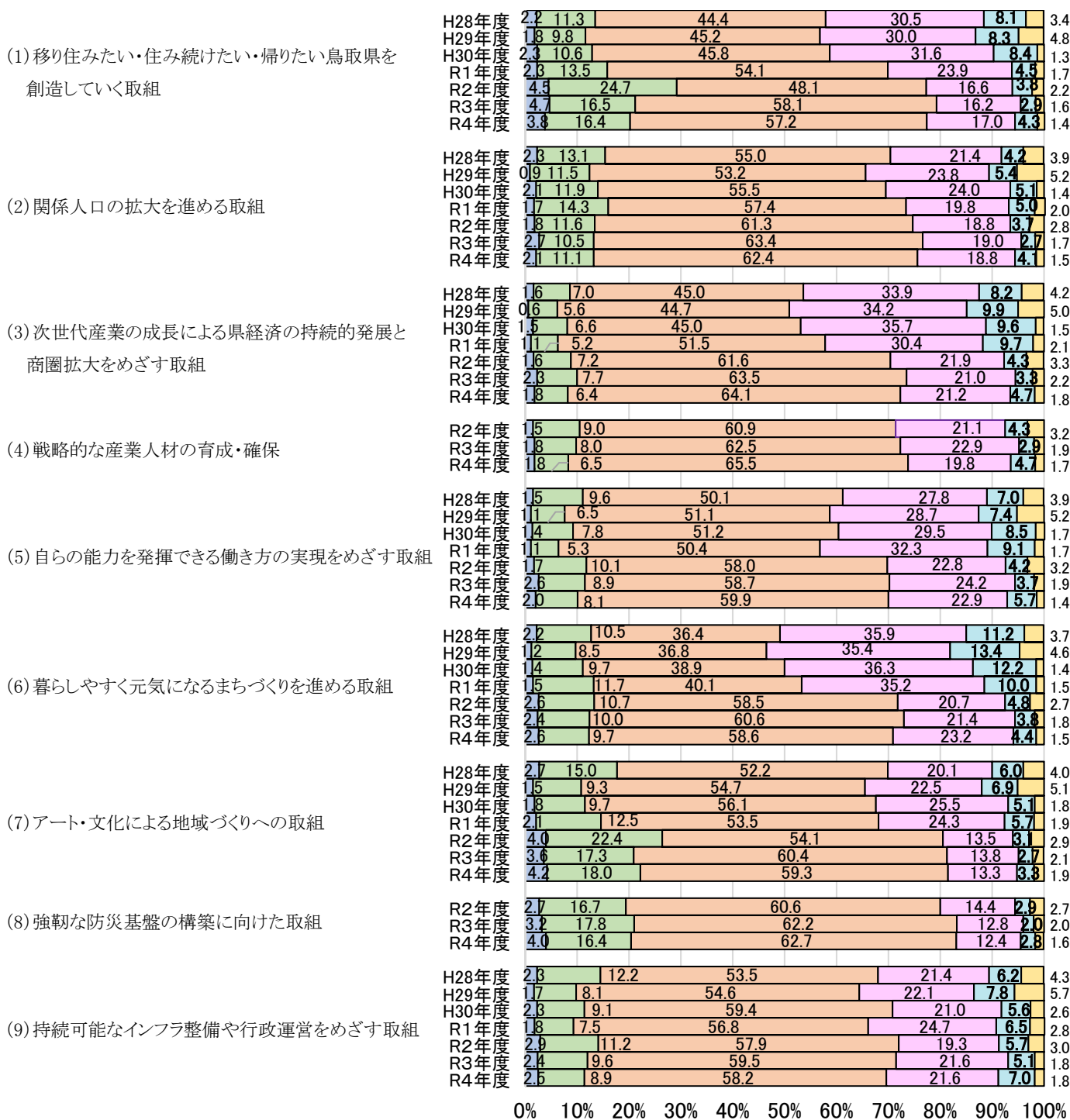


図 22 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(年次比較)



□満足 □やや満足 □普通(どちらともいえない) □やや不満 □不満 □無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

(7)アート・文化による地域づくりへの取組 【+1.3】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

(6)暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組 【+2.4】

(1)移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組 【+2.2】

(9)持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組 【+1.9】

(3)次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圈拡大をめざす取組 【+1.6】

(2)関係人口の拡大を進める取組 【+1.2】

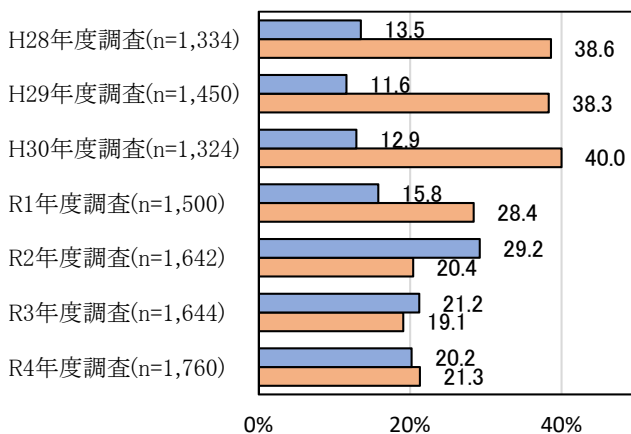
(5)自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組 【+0.7】

(8)強靱な防災基盤の構築に向けた取組 【+0.4】

(7)アート・文化による地域づくりへの取組 【+0.1】

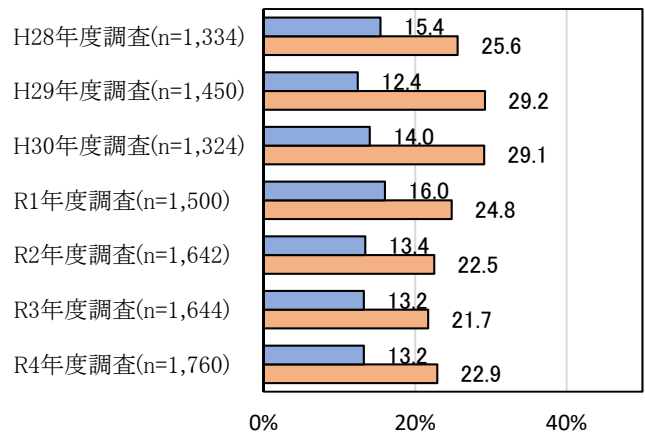
●満足度・不満足度の比較

(1)移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組



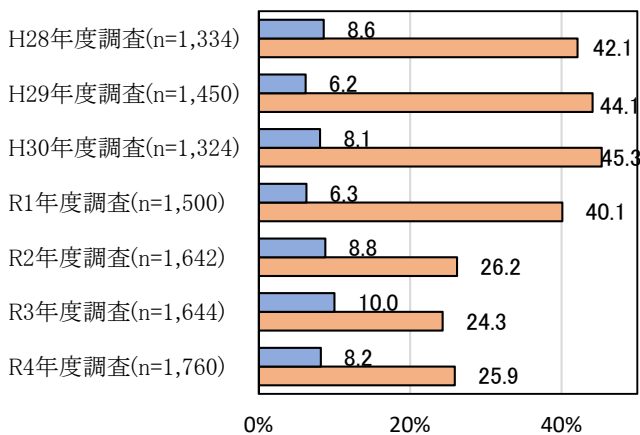
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(2)関係人口の拡大を進める取組



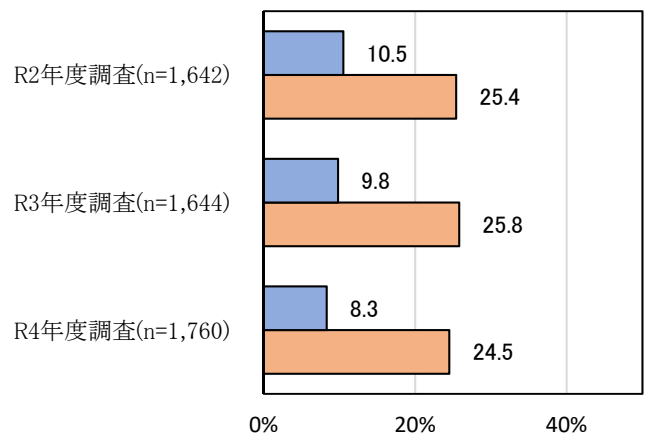
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(3)次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圈拡大をめざす取組



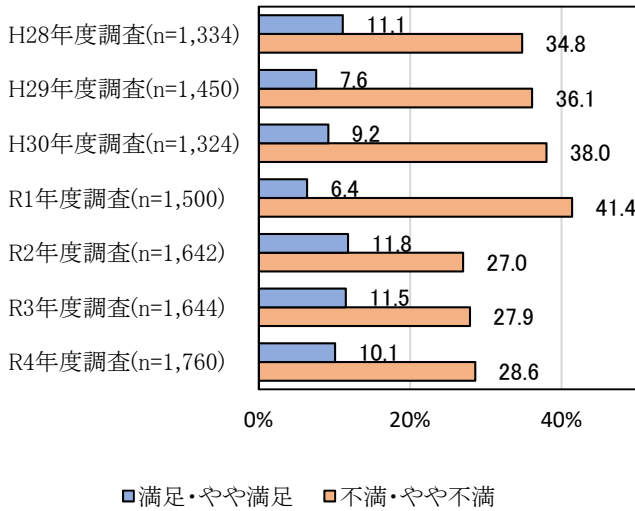
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(4)戦略的な産業人材の育成・確保

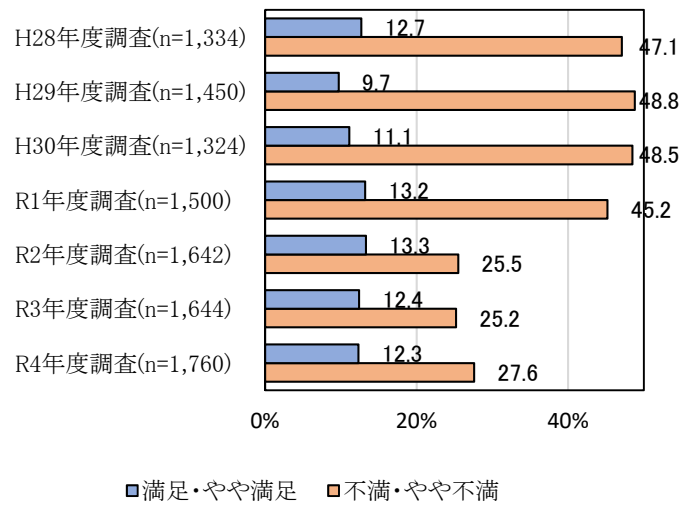


■満足・やや満足 ■不満・やや不満

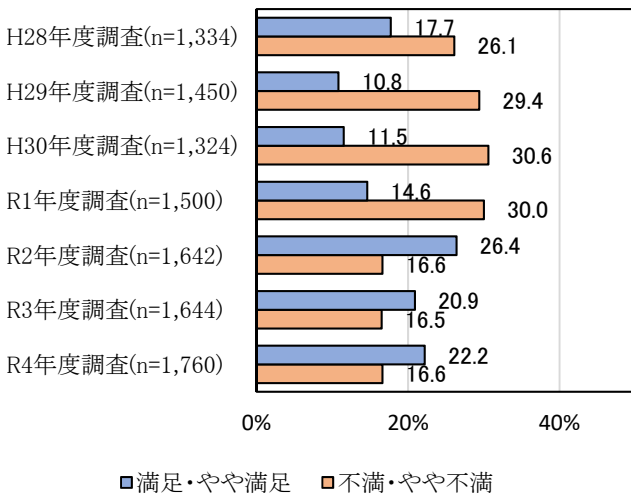
(5) 自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組



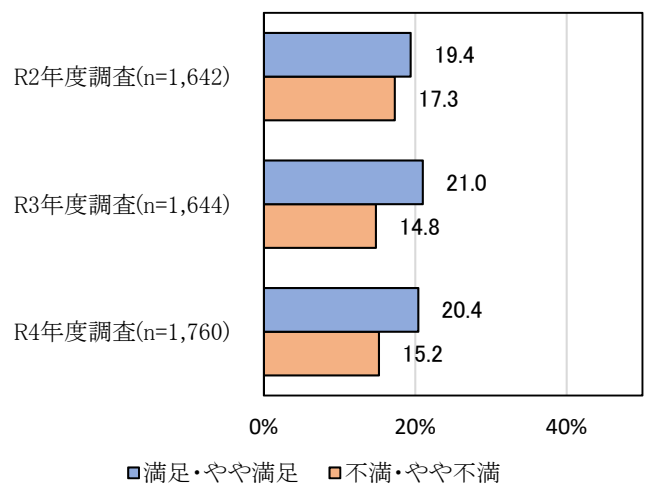
(6) 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組



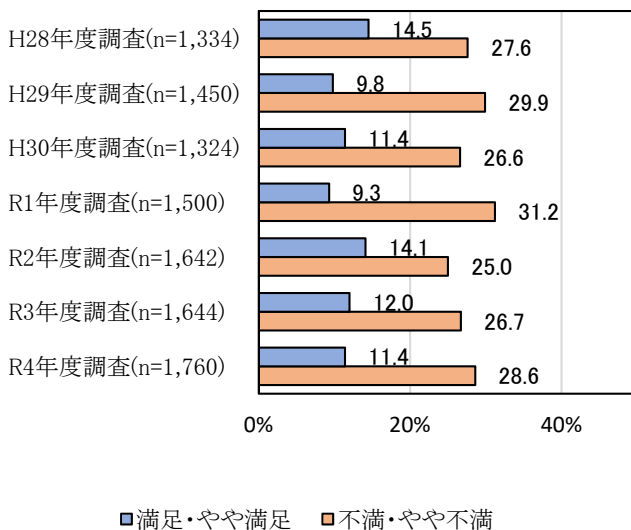
(7) アート・文化による地域づくりへの取組



(8) 強靱な防災基盤の構築に向けた取組



(9) 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組



問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」の施策等のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が58.0%と最も割合が高く、次いで「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が43.0%、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が39.0%となっている。

平成 28 年度-令和4年度を比較してみると、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」「戦略的な産業人材の育成・確保」はこれまでで最も高くなっている。

年代別でみると、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」は 50 歳代で最も高くなっている。

図23 「幸せと感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(年次比較)

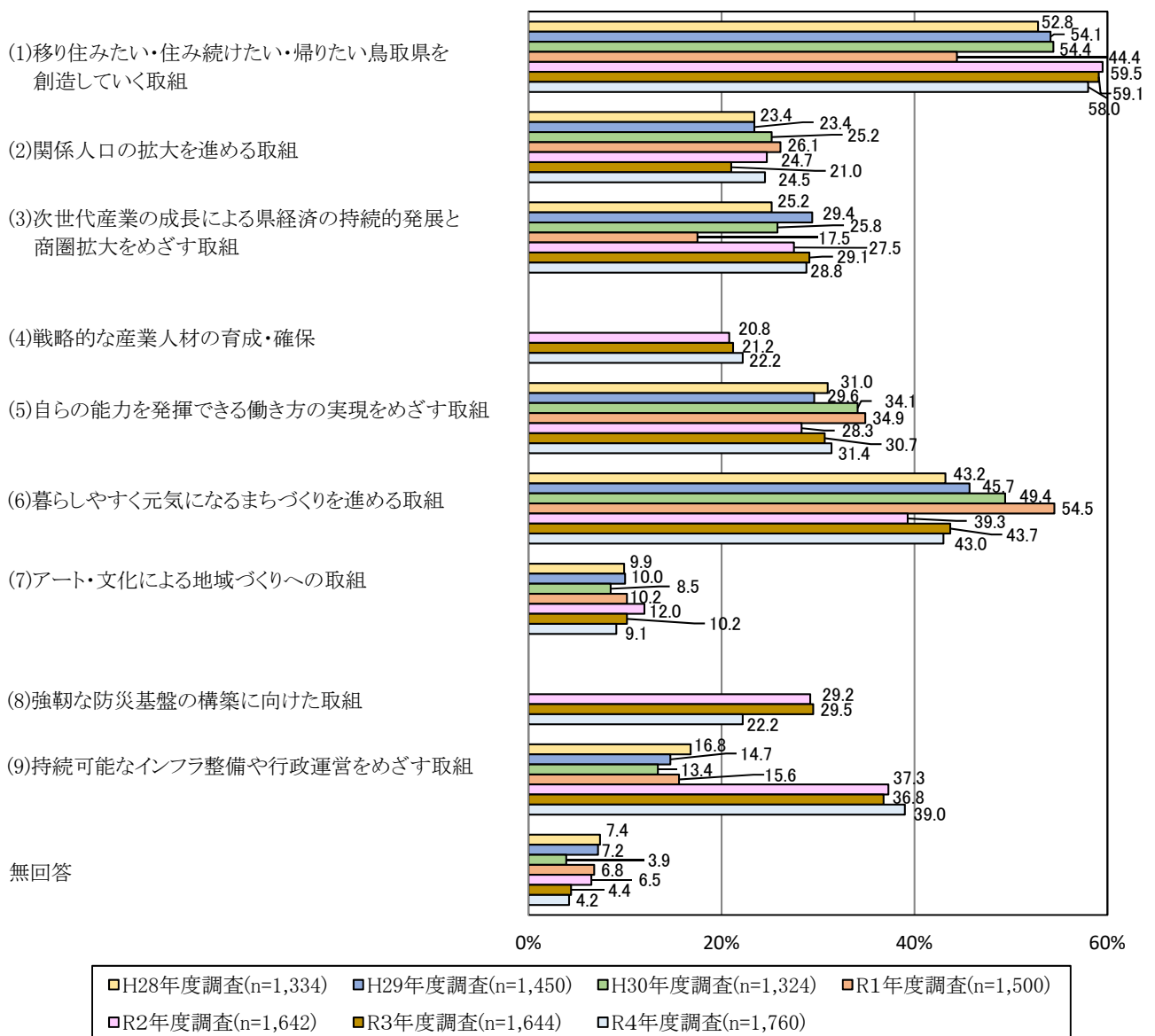
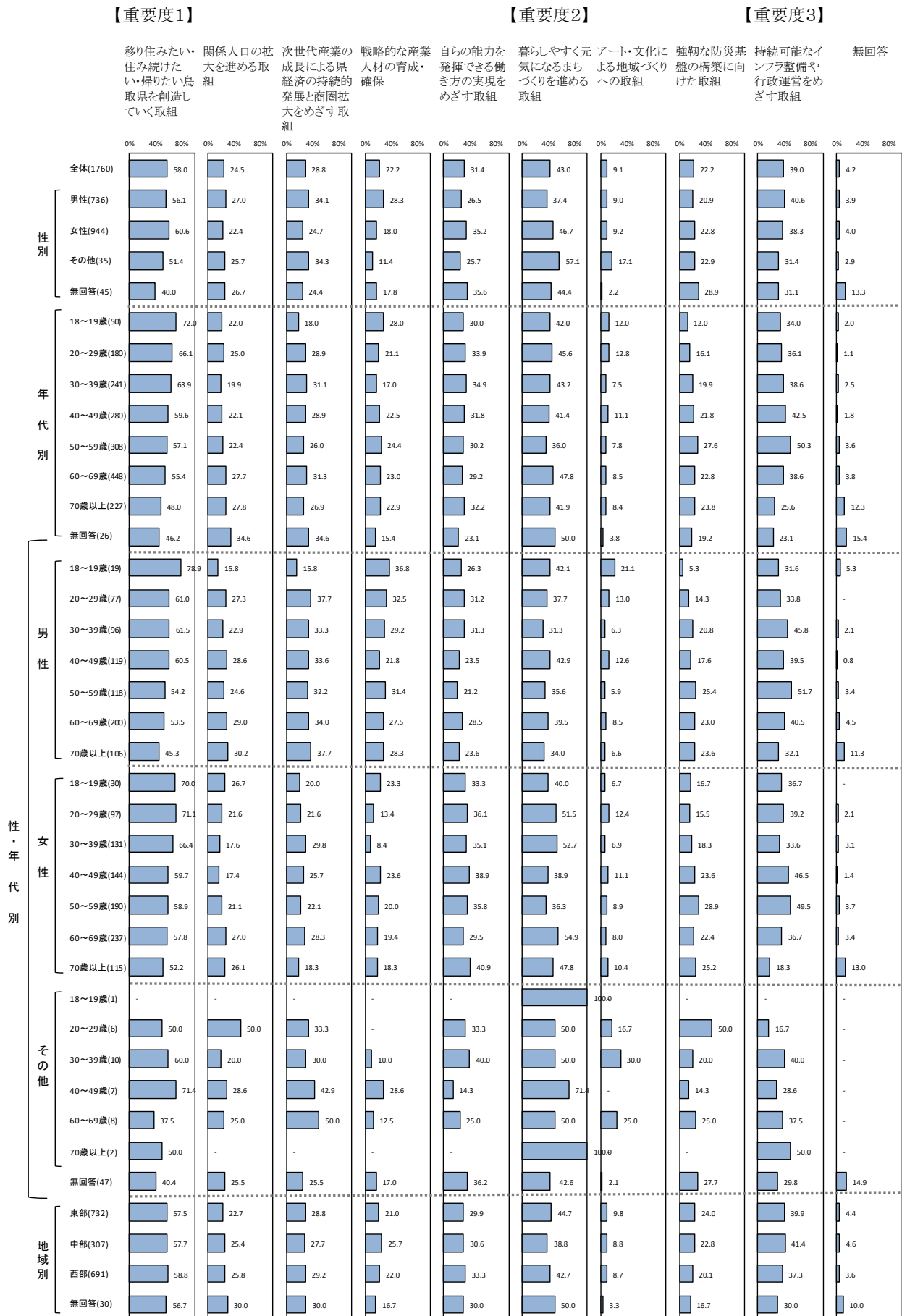


図 24 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



4 男女共同参画社会づくり

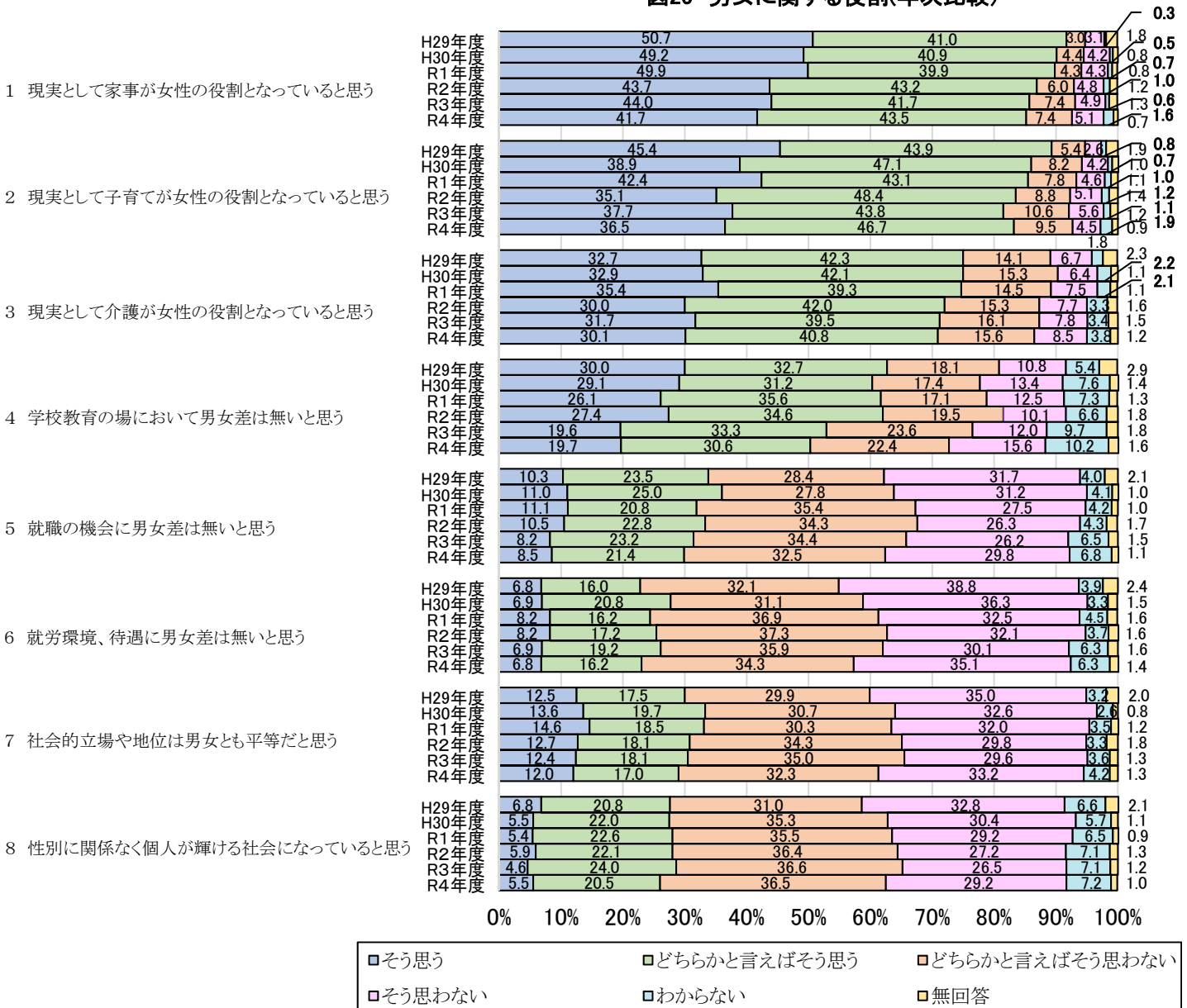
問7 男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目(設問)についてどう思われますか。項目ごとにいずれかに○を記入してください。

～現実として「家事、子育て、介護が女性の役割」となっていると思う人が多数～

男女に関する役割などについて、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせると、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」が85.2%と最も割合が高く、次いで「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」が83.2%、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」が70.9%となっている。

平成29年度～令和4年度を比較してみると、上記の3項目について「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の計の割合は年度毎に減少傾向である。一方、「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」の計の割合が最も高いのは、「就労環境、待遇に男女差は無いと思う」の69.4%となっている。

図25 男女に関する役割(年次比較)



問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。(〇は3つまで)

～「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」
 「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」が上位～

男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が60.9%と最も割合が高く、次いで「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が47.0%、「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」が40.1%となっている。

令和元年度-4年度を比較してみると、特に、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」については、令和元年度から令和4年度のいずれにおいても6割以上が行政が行うべき施策との認識がある。

性・年代別でみると、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」は女性の20～30歳代で高く、男性は30～40歳代で高くなっている。

図26 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために行政が行うべき施策(年次比較)

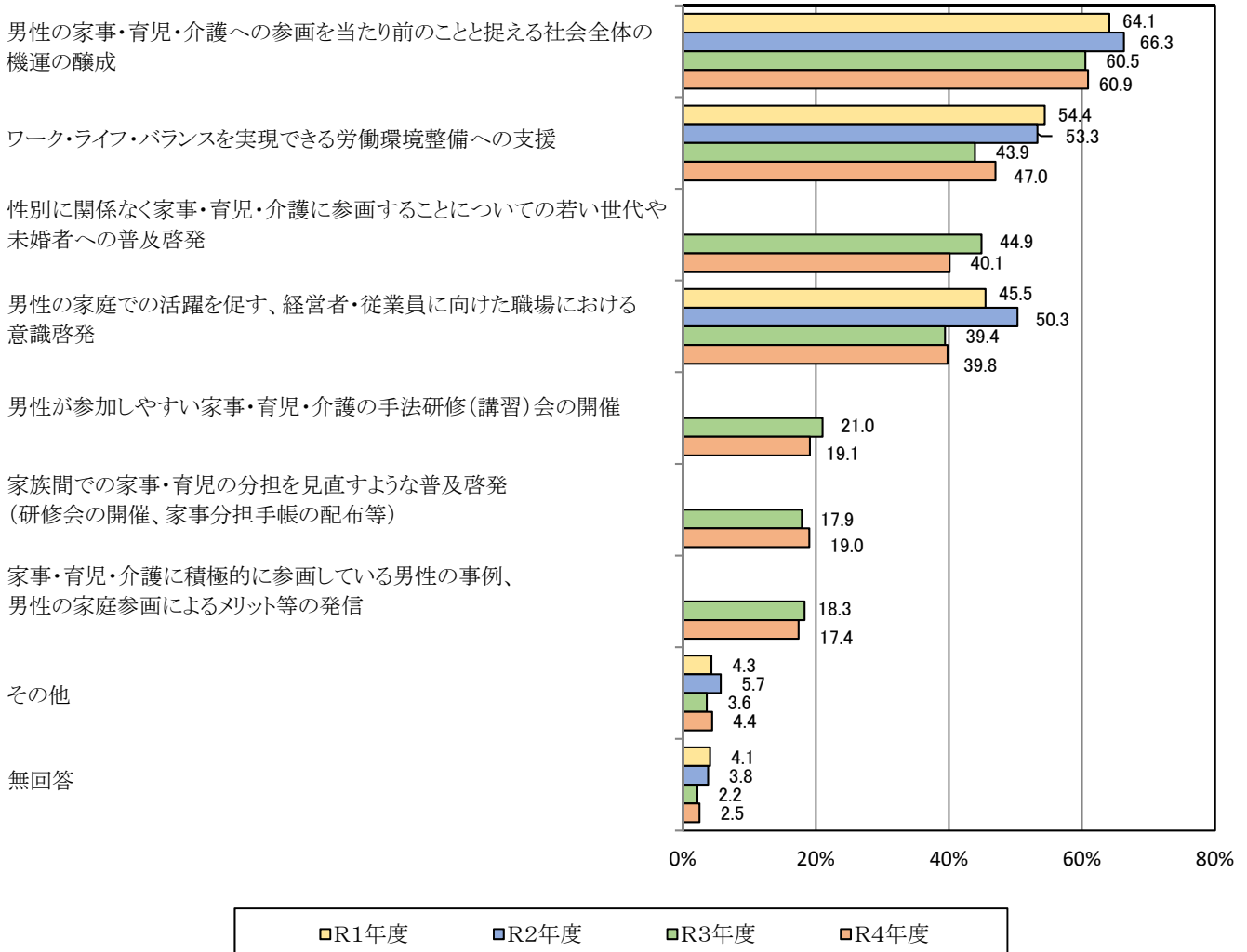
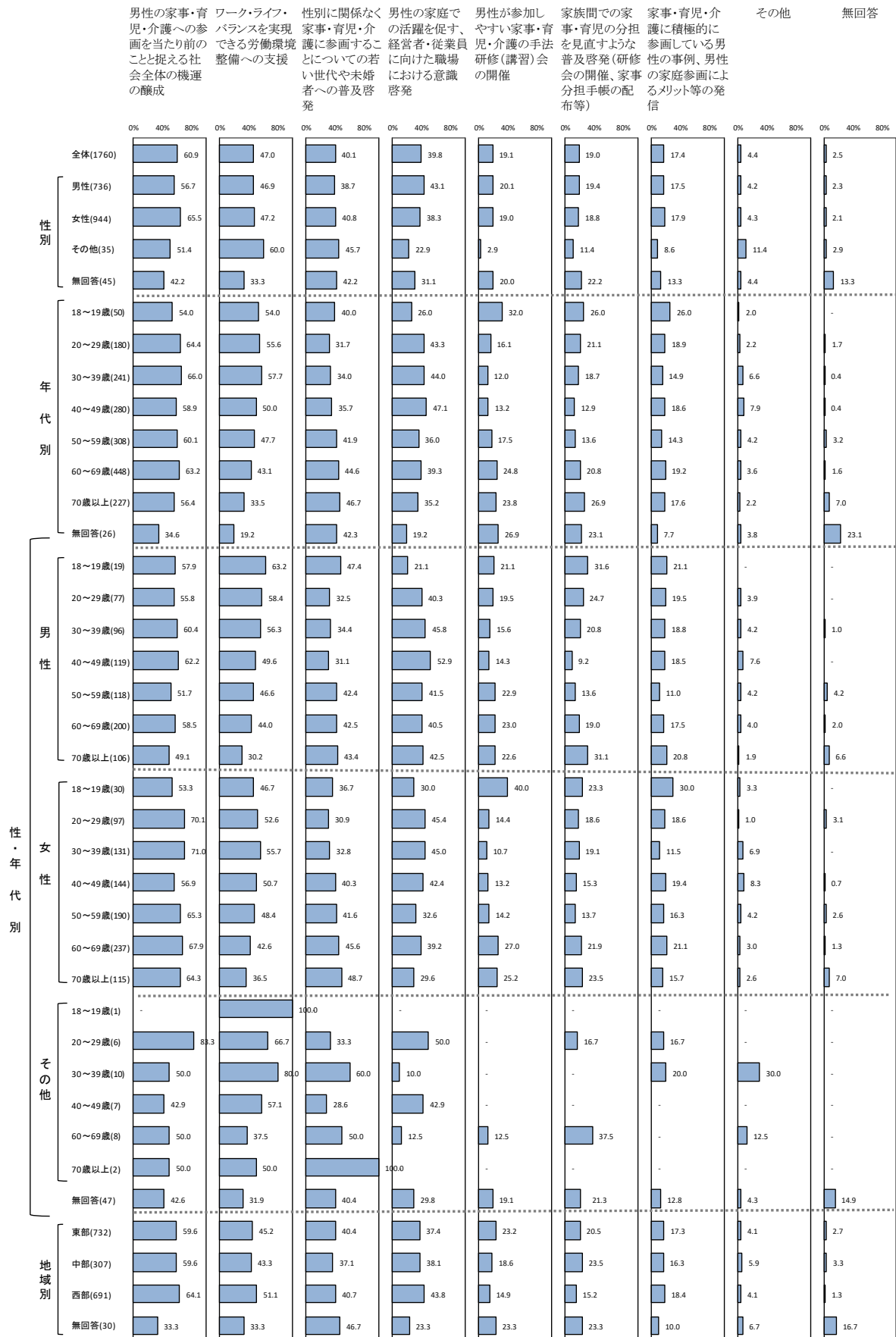


図 27 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策
(性別・年代別・地域別)

【上位1】 【上位2】 【上位3】



問9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇は3つまで)

～「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」や「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が上位～

男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」が57.1%と最も高く、次いで「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が56.2%、「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」が39.8%となっている。

令和2年度-4年度を比較してみると、上記の3項目は年度毎に増加しており、特に4年度の「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」は前年度より6.1ポイント増加している。

性・年代別でみると、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」は男女とも30歳代が最も高くなっている。

図28 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと(年次比較)

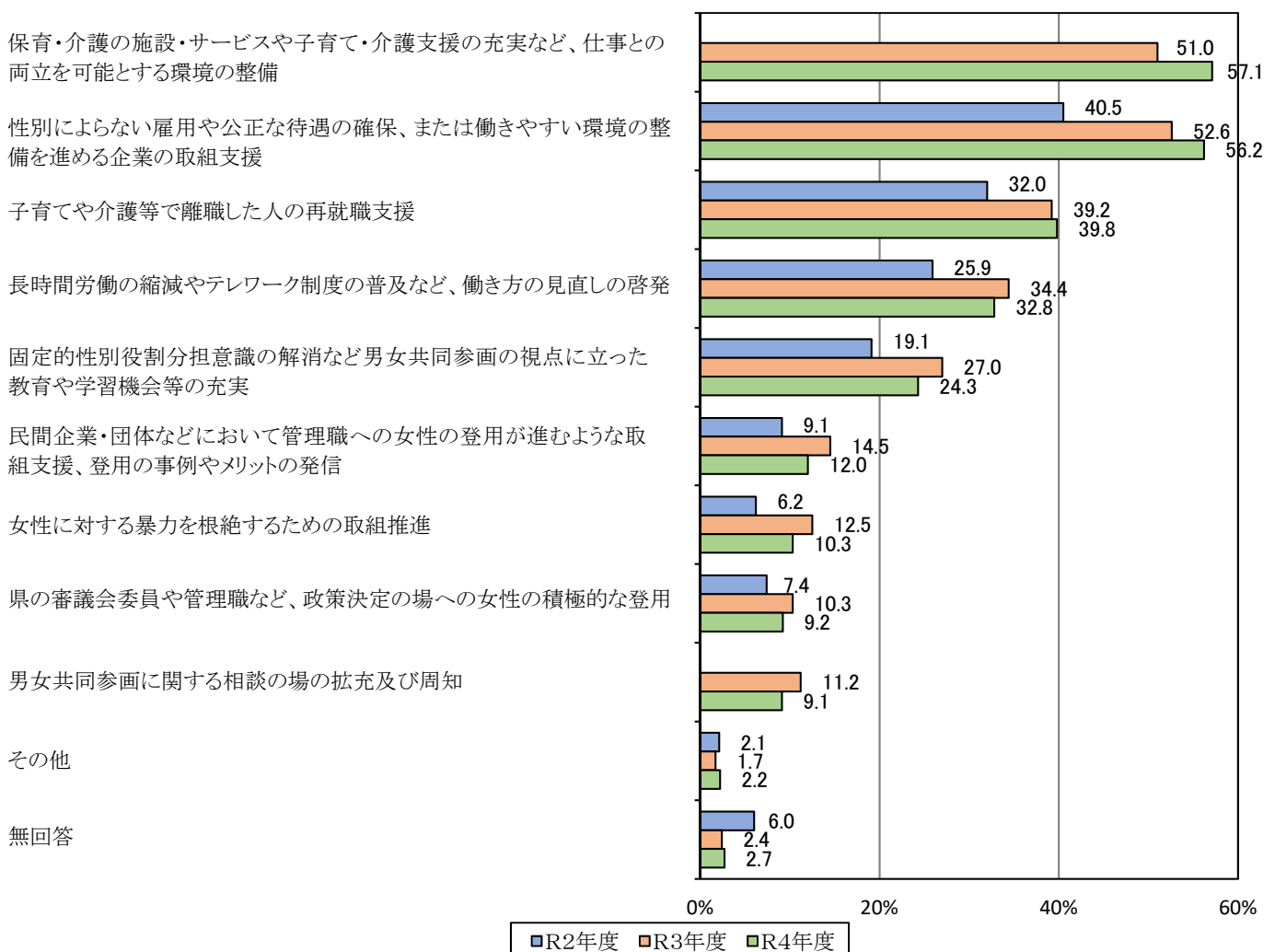
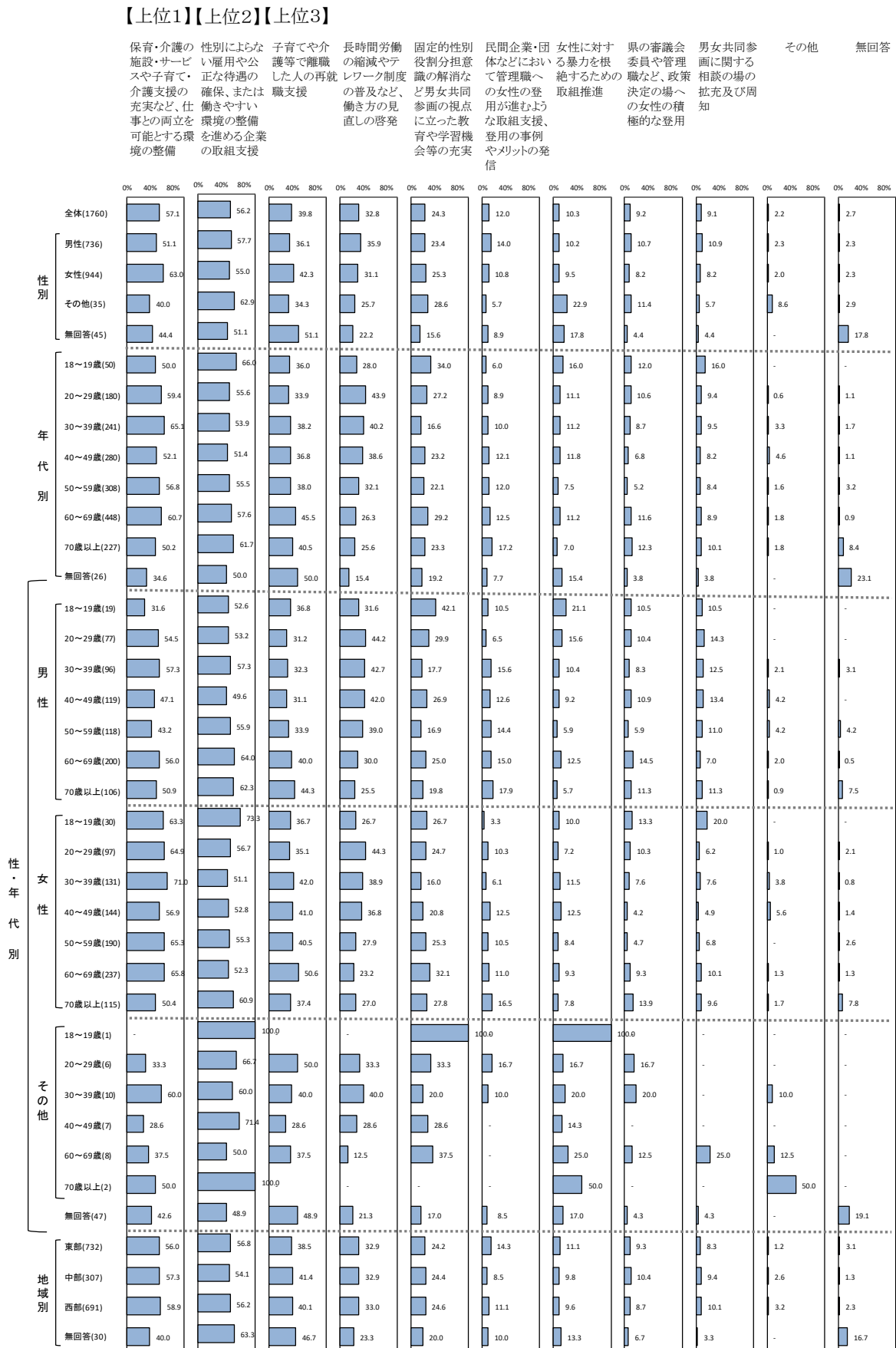


図 29 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと(性別・年代別・地域別)



5 SDGs(持続可能な開発目標)の推進

問 10 あなたは国連で採択されたSDGsという言葉・内容を聞いたことがありますか。

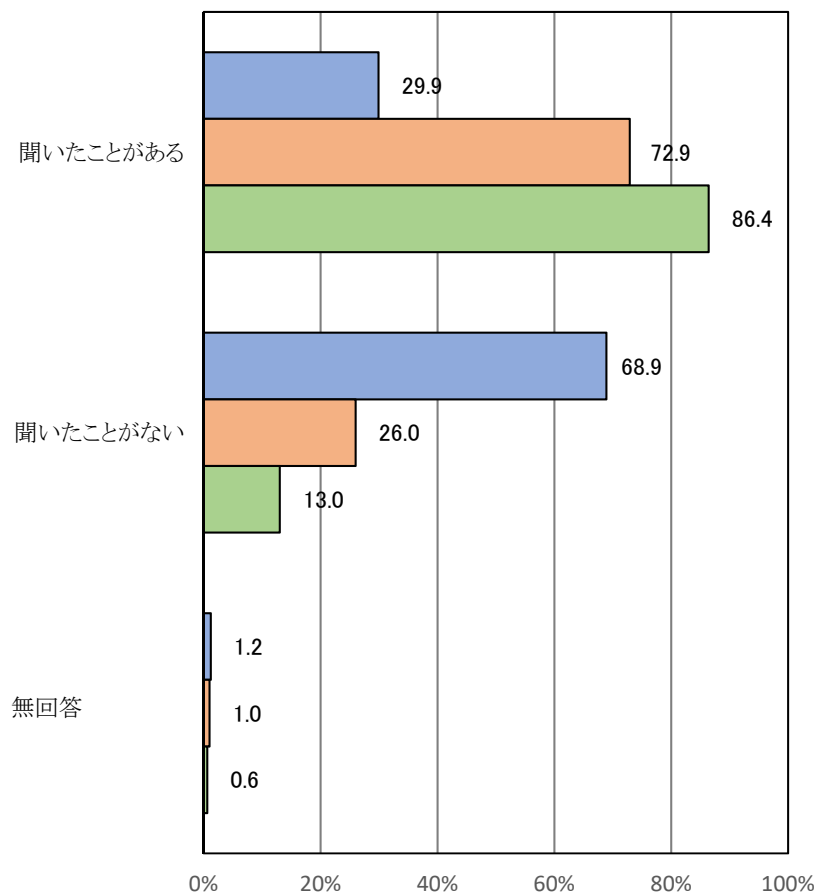
～「聞いたことがある」が約9割、「聞いたことがない」が約1割～

国連で採択されたSDGsという言葉・内容を聞いたことがあるかについて、「聞いたことがある」が86.4%、「聞いたことがない」が13.0%となっている。

令和2年度-4年度を比較してみると、「聞いたことがある」は年度毎に増加しており、4年度は前年度より10ポイント以上増加して、約9割となっている。

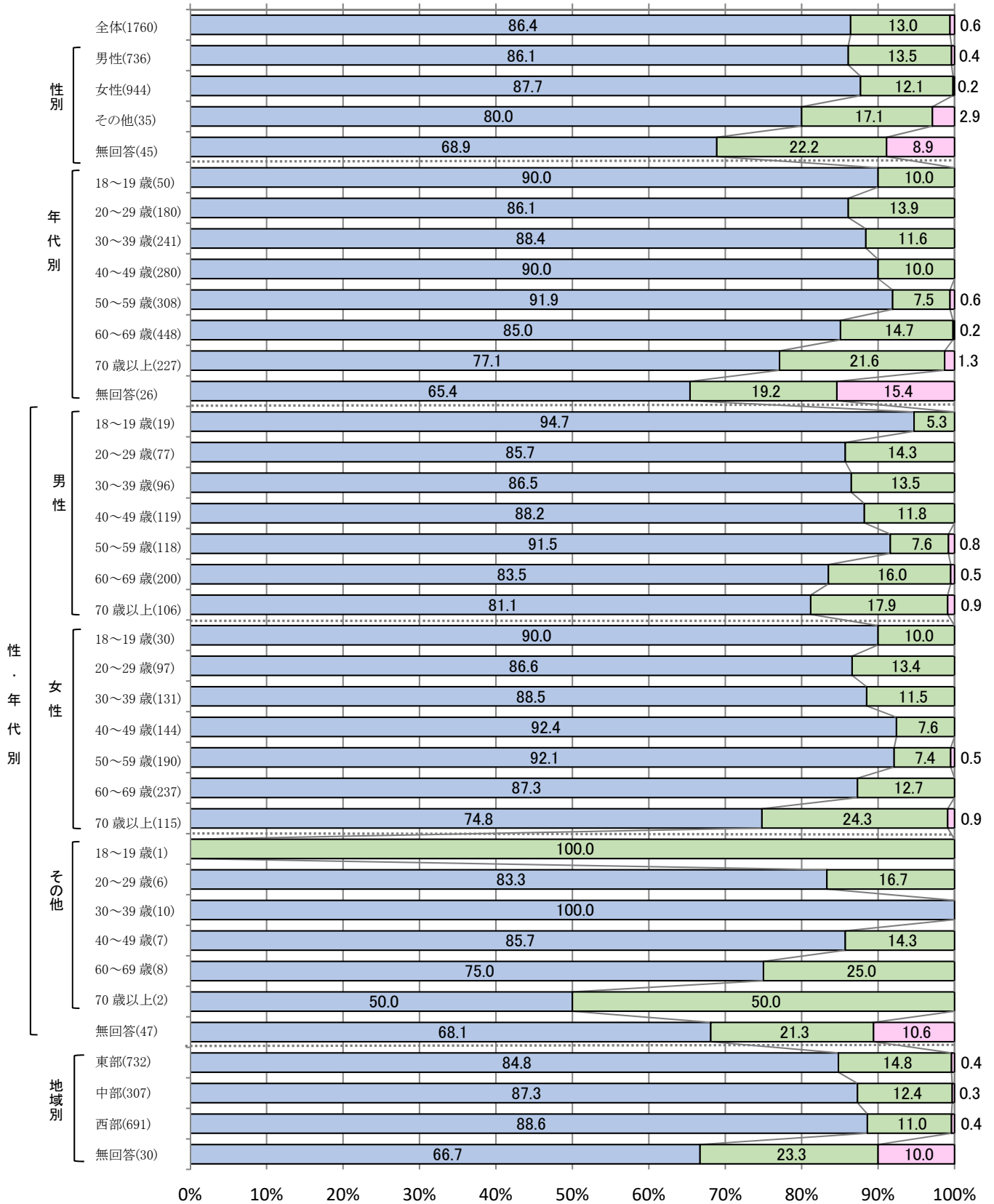
年代別でみると、「聞いたことがない」は70歳以上で高くなっている。

図30 国連で採択されたSDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか(年次比較)(n=1,760)



■R2年度 ■R3年度 ■R4年度

図31 SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか(性別・年代別・地域別)



□聞いたことがある

□聞いたことがない

□無回答

問 11 (「聞いたことがある」と回答した方へ)SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。
(〇はいくつでも)

～「テレビ」が最も多く「新聞・雑誌」が次に多い～

SDGsという言葉・内容をどうやって知ったかについて、「テレビ」が 77.8%と最も割合が高く、次いで、「新聞・雑誌」が 49.0%、「インターネット」が 33.2%となっている。

令和2年度-4年度を比較してみると、4年度は「インターネット」、「仕事・学校で関わりがある」が前年度より5ポイント程度増加している。

年代別でみると、「テレビ」は全ての年代で高く、「新聞・雑誌」は 60 歳代以上で高く、「インターネット」は 30 歳代以下で高くなっている。

図32 SDGsという言葉・内容をどうやって知ったか(年次比較)

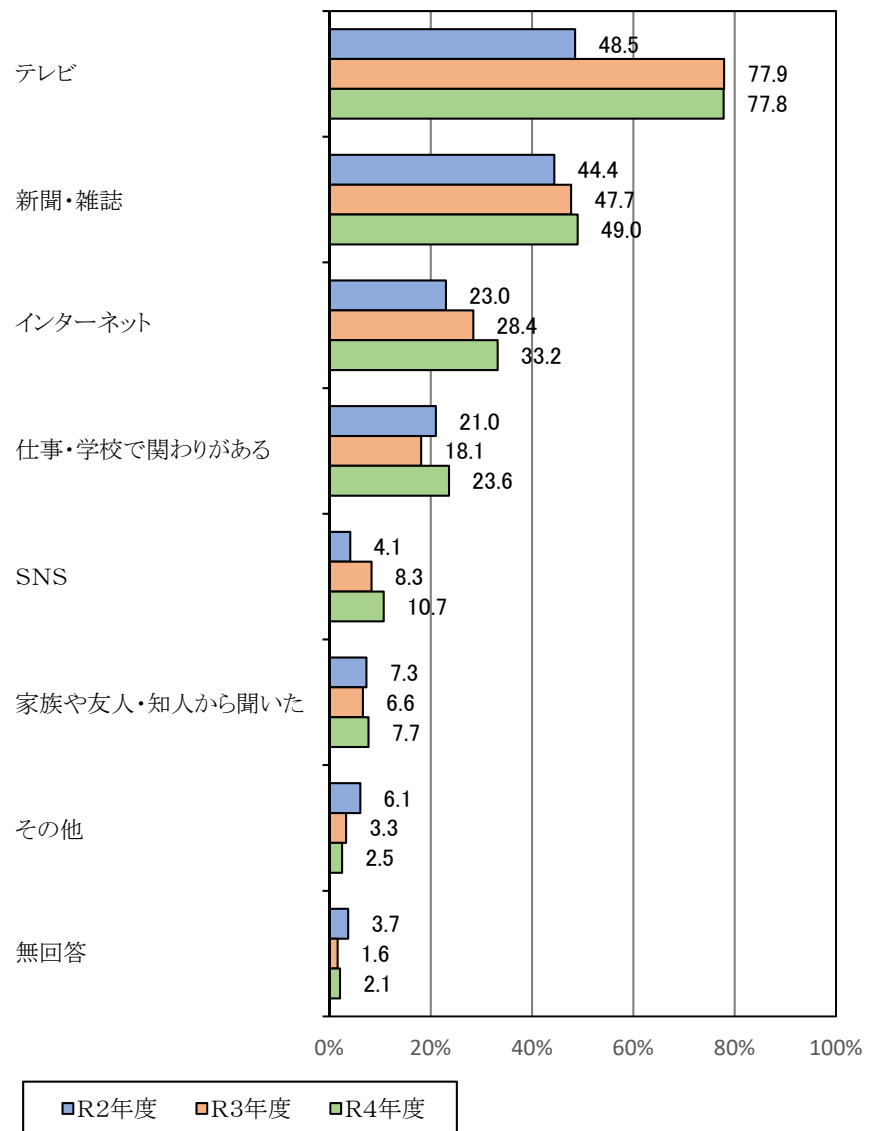
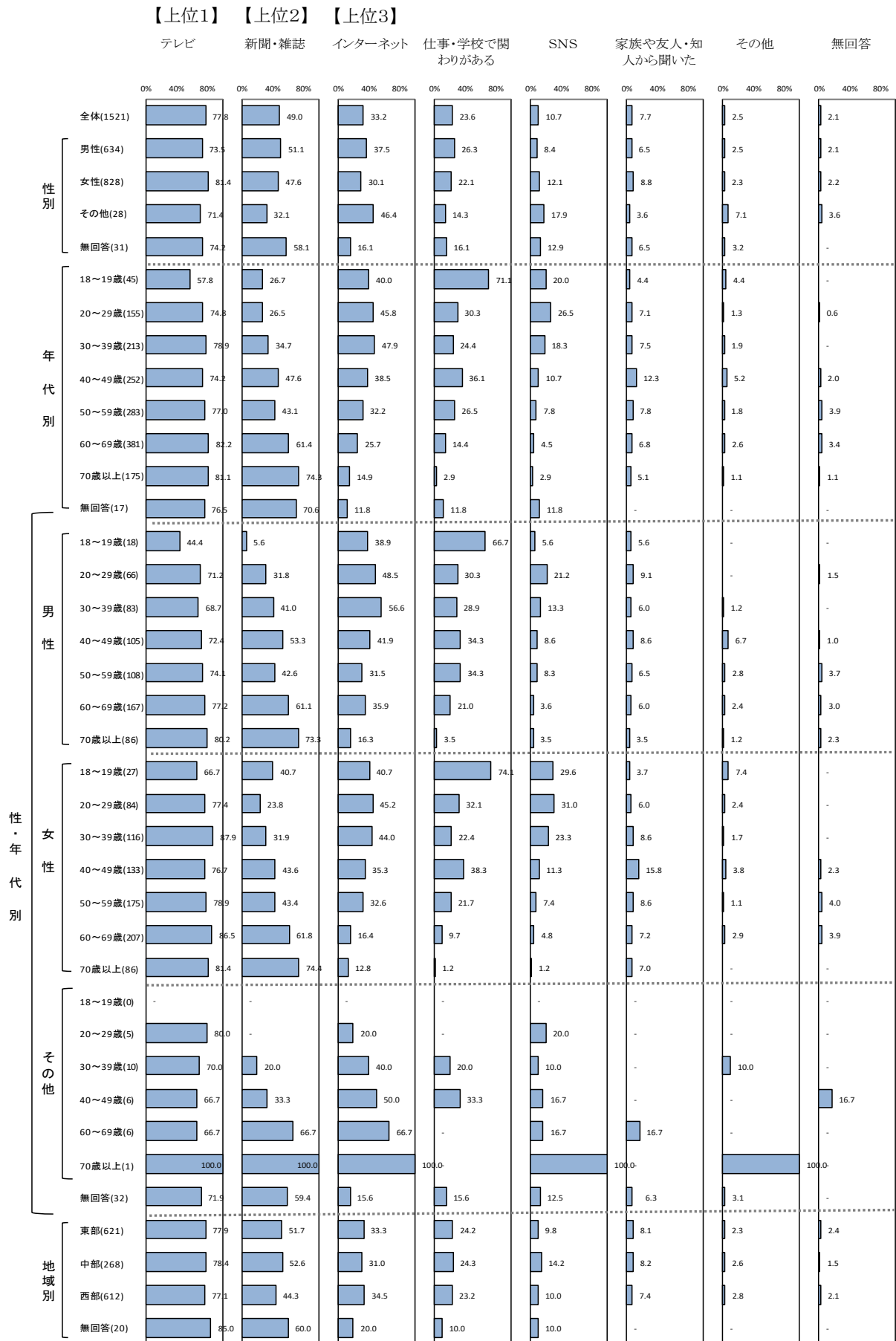


図 33 SDGsという言葉・内容をどうやって知ったか(性別・年代別・地域別)



問 12 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心がありますか。(〇はいくつでも)

～「平和と安全・安心社会の実現」「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が上位～

SDGsの8つの優先課題のうち、関心がある課題について、「平和と安全・安心社会の実現」が54.2%と最も割合が高く、次いで「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が49.5%、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」が42.0%となっている。

令和2年度-4年度を比較してみると、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」、「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」は年度毎に増加している。

年代別でみると、「平和と安全・安心社会の実現」は60歳代以上で、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」は40歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、全ての年代において「平和と安全・安心社会の実現」、「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」は男性より女性が高く、一方、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」は女性より男性が高くなっている。

図34 SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか(年次比較)

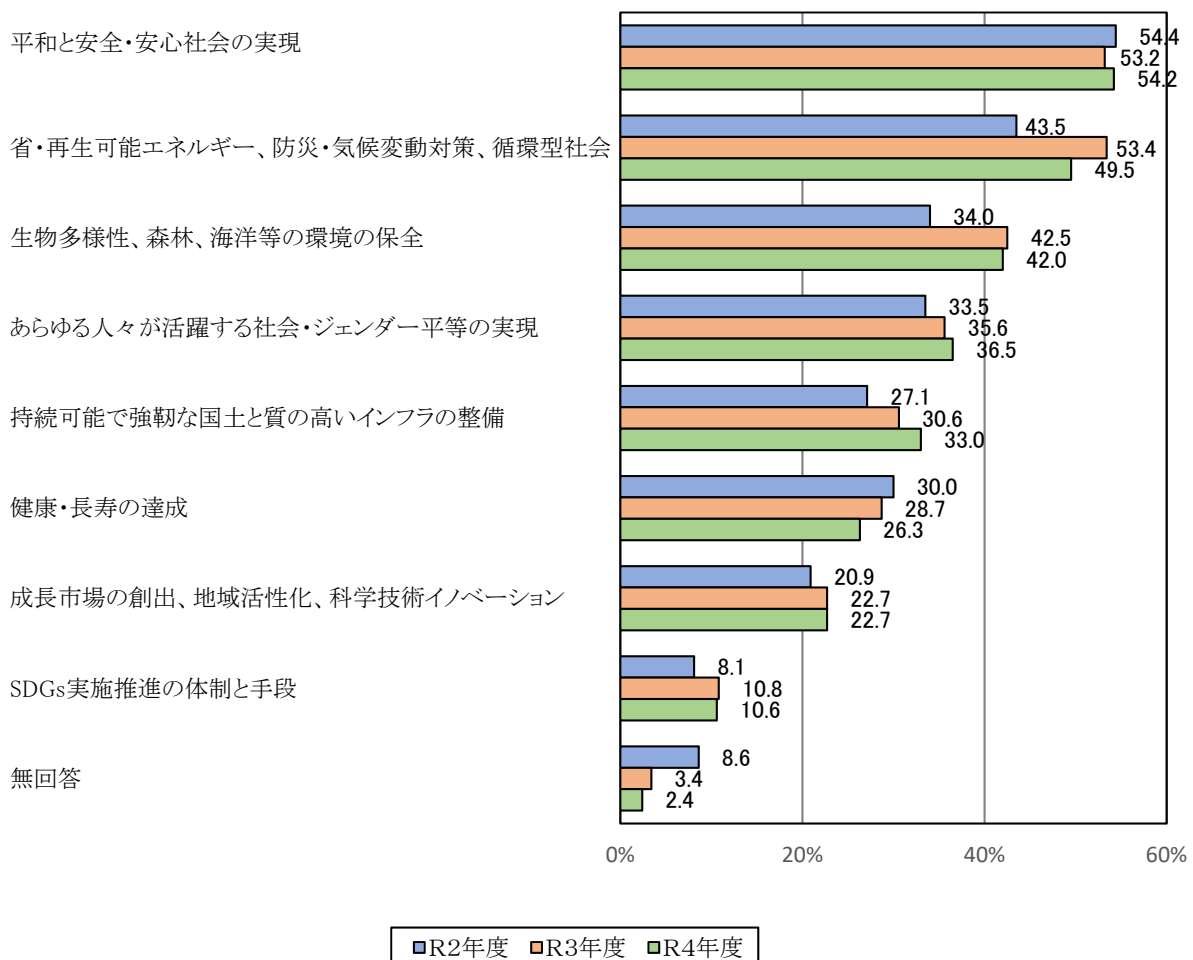
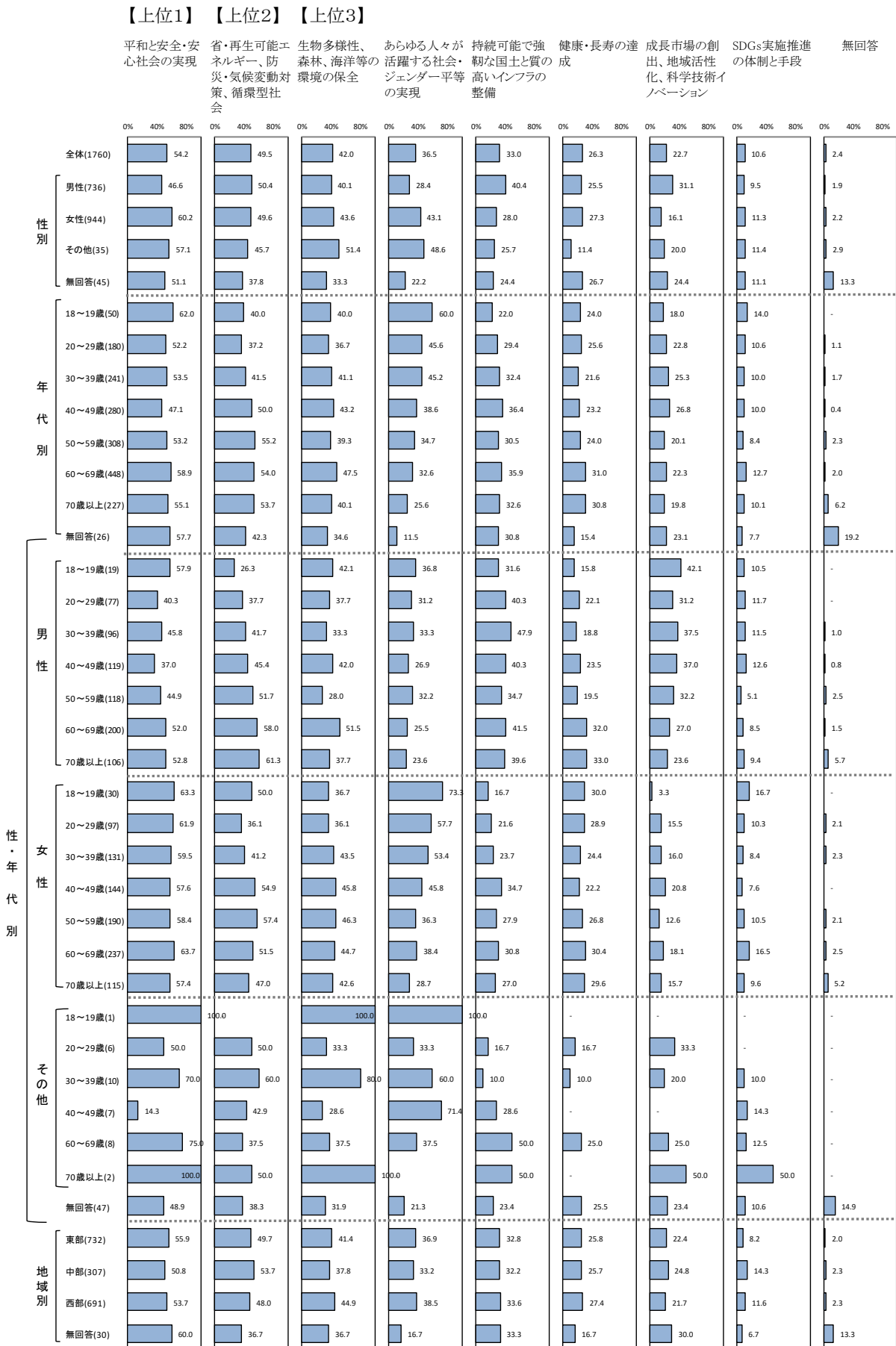


図 35 SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか(性別・年代別・地域別)



問 13 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

～「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」「平和と安全・安心社会の実現」が上位～

SDGsの8つの優先課題のうち、行政が特に力を入れるべき課題について、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が46.8%と最も割合が高く、次いで「平和と安全・安心社会の実現」が41.3%、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」が37.5%となっている。

令和3年度-4年度を比較してみると、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」は3年度より4.5ポイント増加している。

年代別でみると、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」は40歳代以上、「平和と安全・安心社会の実現」は60歳代以上で割合が高くなっている。

図36 SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて行政が特に力を入れるべき課題(年次比較)

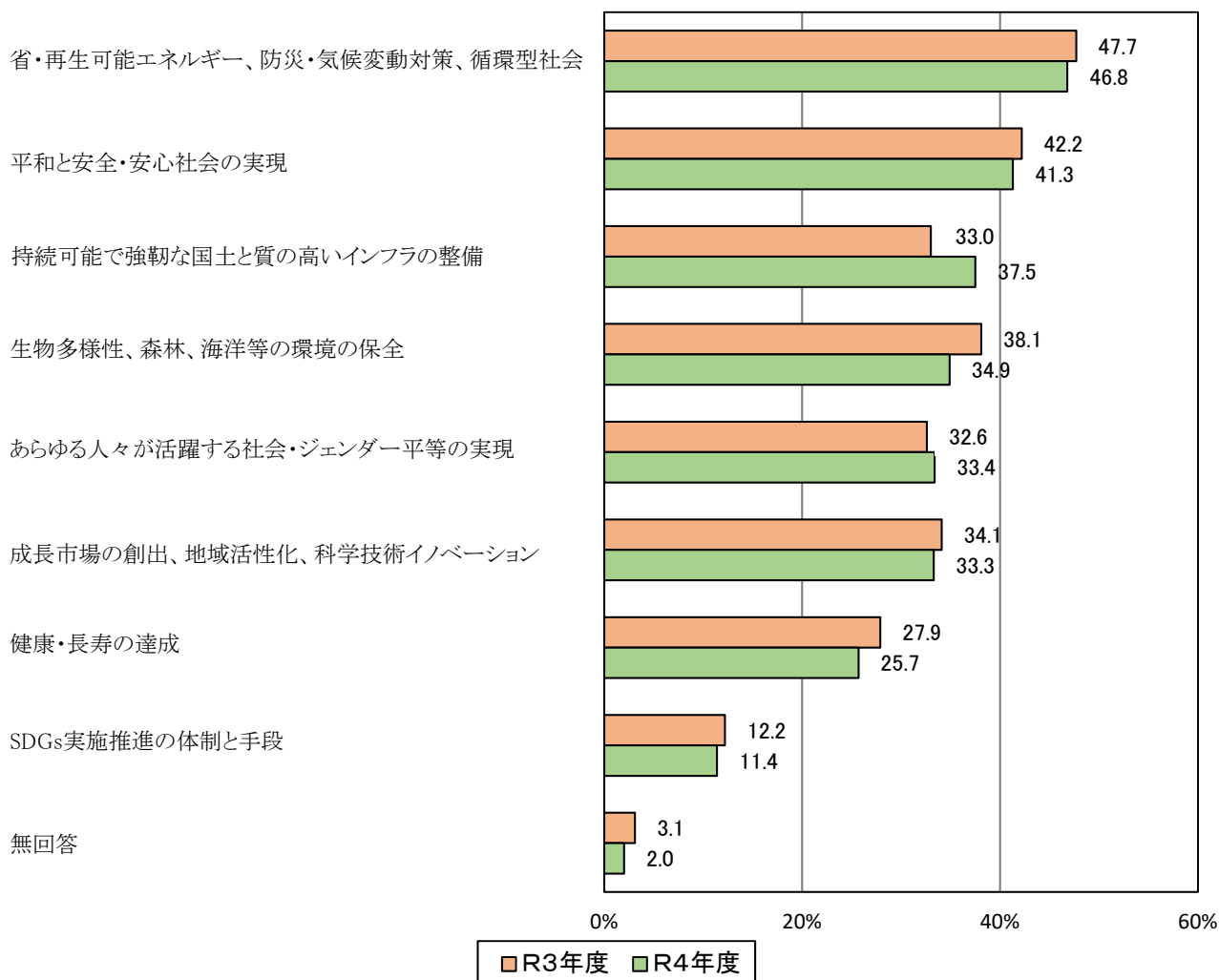


図 37 SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題
(性別・年代別・地域別)

【上位1】 【上位2】 【上位3】

省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会
 平和と安全・安心社会の実現
 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現
 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
 健康・長寿の達成
 SDGs実施推進の体制と手段
 無回答

